

平成26年

九州地方 一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Kyushu

2014

はじめに

九州地方一級河川の水質調査の紹介

コラム

遠賀川

-良好な水環境を目指して-

水質調査結果の概要

新しい水質指標による調査結果の概要

人の健康の保護に関する項目の調査結果の概要

ダイオキシン類・内分泌かく乱化学物質の実態調査

結果の概要

水質事故の発生状況の概要

調査結果

用語の解説



CONTENTS

はじめに

九州地方一級河川の水質調査の紹介 01

平成 26 年水質調査結果の概要 03
水質調査結果の見方 04
九州地方一級河川の水質状況 05
地点別年平均水質 06
主要河川別年平均水質 07
生活環境の保全に関する環境基準の満足状況 08

コラム

遠賀川 -良好な水環境を目指して- 09

平成 26 年新しい水質指標による調査結果の概要 11
新しい水質指標について 12
新しい水質指標に基づく調査結果 14
平成 26 年人の健康の保護に関する項目の調査結果の概要 15
人の健康の保護に関する項目の調査結果 16
平成 26 年度ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果
の概要 17
ダイオキシン類実態調査結果 18
内分泌かく乱物質実態調査結果 19
平成 26 年水質事故の発生状況の概要 20
水質事故の発生状況 21
調査結果 22
1. 九州地方一級河川の全地点の水質
2. 九州地方一級河川の全地点の水質調査位置図
3. 平成 26 年新しい水質指標による調査結果
4. 平成 26 年度ダイオキシン類実態調査結果
5. 平成 26 年度内分泌かく乱化学物質調査結果
6. 平成 26 年度ベンゾ（a）ピレン調査結果
7. 平成 26 年度ダイオキシン類・内分泌かく乱化学物質・
ベンゾ（a）ピレン調査位置図
用語の解説 57

九州地方一級河川の水質調査の紹介

九州地方整備局では、昭和 33 年に遠賀川で水質調査を開始して以来、順次調査河川を増やし、昭和 43 年より九州地方の全ての一級河川を対象に水質調査を実施しています。また、昭和 47 年より調査結果を公表しています。

はじめに、九州地方整備局における、これまでの河川水質の推移や品質管理の取組みを紹介します。

九州地方一級河川の水質の推移

九州地方一級河川 20 水系の水質の推移を図-1 に示します。本図は各水系の代表地点の BOD 75% 値を昭和 47 年から 10 年間で示しています。

各地点とも、近年水質が改善傾向にあることがわかります。

これは、昭和 40 年代後半より、流域内の排水規制や下水道整備等による汚濁の発生源対策、河川内の浄化対策等の水質改善の取り組みとあわせて、生活排水対策等の住民意識の向上が図られたことによります。

※BODは、河川の水質汚濁を示す代表的な指標の一つであり、数値が大きいほど水がよごれていることを示します。

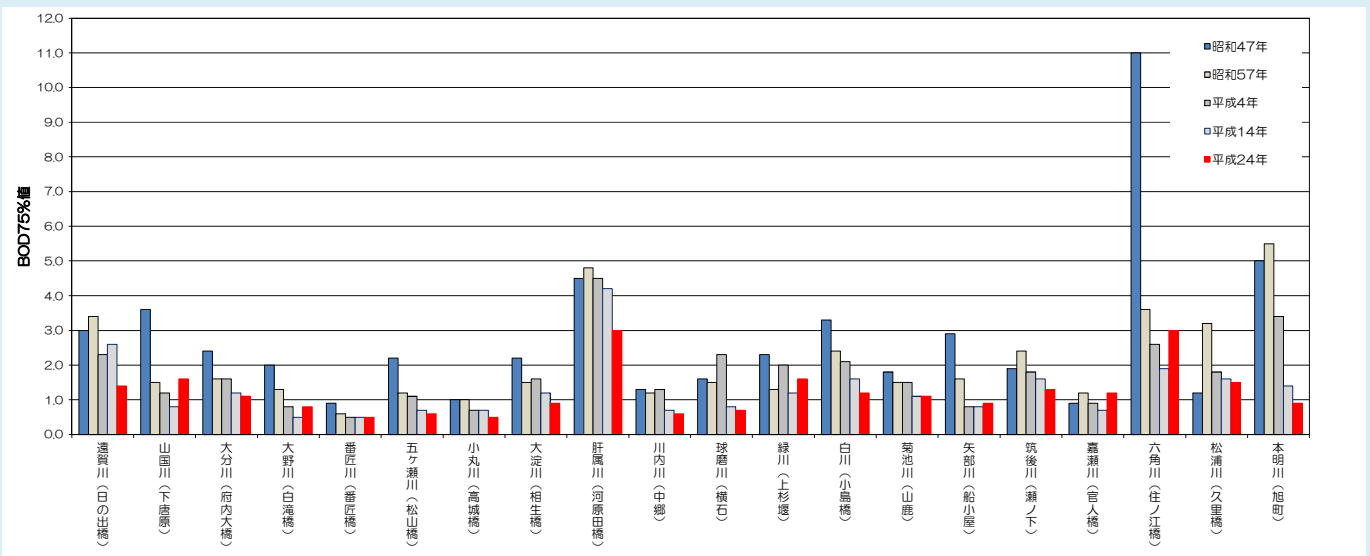


図-1 20 水系の代表地点における BOD75% 値の推移

また、図-2 に平成 26 年の河川の水質調査地点(環境基準が設定されている 139 地点)における BOD 75% 値を百分率で示します。平成 26 年は 63% の地点が、人の手が入っていない河川並の水質とされる $1.0 \text{ mg}/\ell$ 以下に、99% の地点でアユ等が生息しやすい水質とされる $3.0 \text{ mg}/\ell$ 以下になっており、良好な水質となっています。

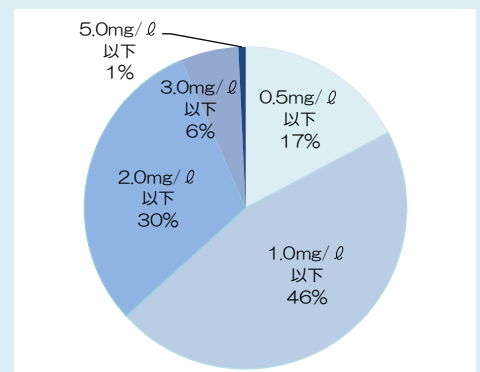


図-2 平成 26 年の河川の水質調査地点における BOD75% 値の百分率

河川水質調査の品質を確保するための取組み

九州地方整備局では、九州地方一級河川 20 水系の直轄管理区間において、159 地点で定期的（原則として月 1 回）に水質調査を実施しています。

ここでは、これらの水質調査データの品質を確保するため、九州地方整備局管内の技術開発・調査を担当する九州技術事務所で実施している取組みを紹介します。

【取組み 1】水質調査結果は毎月確認

毎月の水質調査結果は、調査地点毎に過去の水質調査データや、その月の雨量や河川流況と比較して異常な値がないか確認しています。

【取組み 2】年に 1 回、事業所の分析精度を確認

水質調査は、複数の民間の環境計量証明事業所に委託しています。このため、年 1 回、同一試料の共同分析を実施して、事業所間で分析値にバラツキがないか確認しています。

また、その結果をもとに各事業所の分析担当者が参加する「水質分析精度管理意見交換会」を開催し、分析誤差の要因や精度向上のための課題に関する意見交換を通じて水質データの品質確保や精度管理体制の向上を図っています。

【取組み 3】ダイオキシン類は専門の検討会で審査

ダイオキシン類は、ごく微量でも毒性が強い物質であり、その分析は非常に複雑であるため、九州技術事務所が、全ての直轄河川・ダムダイオキシン類の分析と精度管理を行っています。

また、専門知識を有する学識者と行政担当で構成する「九州地方整備局ダイオキシン類品質管理検討会」において、測定値の審査を行っています。



水質分析精度管理意見交換会の開催状況



ダイオキシン類品質管理検討会の開催状況

河川水質調査結果の公表について

水質調査結果は、過去の雨量、水位、流量の観測結果とあわせてインターネットサイト「国土交通省水文水質データベース」で公表しています。

本サイトでは、九州地方も含めた全国の一級河川の直轄管理区間の水質調査データを公表しています。

また、毎年 7 月頃に、前年の全国一級河川の水質の状況をとりまとめた「全国一級河川の水質現況」を国土交通省のホームページで公表しています。同時に九州地方整備局のホームページで「九州地方一級河川の水質現況」も公表しています。



国土交通省水文水質データベース
<http://www1.river.go.jp/>

問い合わせ先：九州地方整備局 河川環境課 092-476-3525（直通）

平成 26 年水質調査結果の概要

平成 26 年は九州地方の主要河川において 4 河川が「水質が最も良好な河川※1」、24 地点が「水質が最も良好な地点※2」として区分けされました。

河川の水質は、各河川によって状況は異なりますが、主に家庭排水や工場排水が汚濁源となり、河川の流況（流量の多い・少ない）にも影響を受けるものでもあります。

現在、九州地方一級河川の水質は、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化施設等の推進、地域毎の水質改善に関する取組によりかなり改善されてきています。

しかし、一部の調査地点等では、依然として BOD 値が高い地点も見られます。このため、今後の水質改善等の施策は、各調査地点の水質状況を十分に把握した上で効率的に実施していくことが求められています。

※1) 複数の水質調査地点を有する河川のうち、年間の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川

※2) 水質調査地点のうち、年間の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な地点

水質調査結果の見方

1. 調査の対象期間

国土交通省では暦年で調査結果をとりまとめています。平成 26 年は平成 26 年 1 月から 12 月までが対象期間となります。

2. 調査地点

九州地方一級河川の直轄管理区間における水質調査地点は 159 地点です。

水質調査地点の内訳

分類	環境基準が設定されている地点	環境基準が設定されていない地点	合計
河川	139	12	151
湖沼	8	0	8
合計	147	12	159

3. BODとCODについて

BODは河川の水質を、CODは湖沼の水質を評価するための指標として用いています。
(BODとCODについては「用語の解説」を参照)

4. BODとCODにおける 75%値と平均値について

本調査におけるBODとCODについては「75%値」と「平均値」の 2 つの数値を示しています。

「75%値」は環境基準が設定されている地点で、環境基準の満足状況をみる場合に用いています。「平均値」は他の調査地点と数値の比較を行う場合に用いています。

(75%値については「用語の解説」を参照)

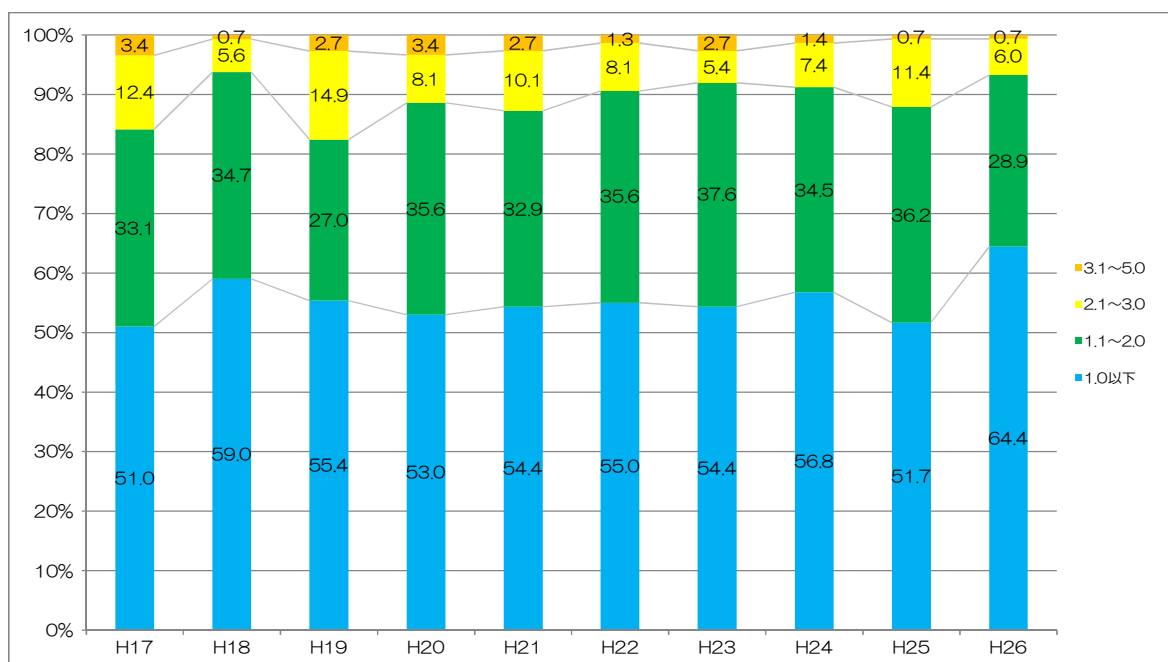
九州地方一級河川の水質状況

平成 26 年水質調査結果の概要

九州地方一級河川 20 水系における過去 10 年間の水質は、アユ等が生息しやすい水質とされる「BOD3.0mg/ℓ 以下」の地点割合が 90%以上と高く、良好な水質を維持しています。

九州地方一級河川 20 水系の各地点における BOD75%値のランク別割合について、人の手が入っていない河川並の水質とされる 1.0mg/ℓ 以下の割合は、過去 10 年間連続して 50%以上となっています。

また、アユ等が生息しやすい水質とされる 3.0mg/ℓ 以下の割合は、平成 26 年は 99%であり、良好な水質が確保されている状況です。



BOD75%値のランク別割合（平成 17 年～平成 26 年）

- BOD2.0mg/ℓ 以下：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産 2 級及び水産 3 級の水産生物用（水産 1 級）
- BOD3.0mg/ℓ 以下：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産 3 級の水産生物用（水産 2 級）
- BOD5.0mg/ℓ 以下：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用（水産 3 級）

地点別年平均水質

平成 26 年水質調査結果の概要

九州地方一級河川における調査地点（151 地点）の中で、年間の平均的な水質（BOD 値）が環境省の定める報告下限値の 0.5mg/ℓ である、水質が最も良好な地点は、番匠橋（番匠川水系番匠川）などの 24 地点でした。

平成 26 年の BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な地点）

水系名	河川名	調査地点
番匠川	番匠川	番匠橋
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪
		松山橋
	大瀬川	大瀬橋
小丸川	小丸川	高城橋
		高鍋大橋
大淀川	大淀川	小戸之橋（大淀大橋）
	綾北川	入野橋
	本庄川	綾南川橋
		本庄橋
		柳瀬橋
深年川	太田原橋	
球磨川	球磨川	多良木
		西瀬橋
	川辺川	五木宮園
		神屋敷
		五木
		四浦
		柳瀬
五木小川	元井谷	
緑川	御船川	五庵橋
菊池川	菊池川	広瀬
	繁根木川	永徳寺
松浦川	葎木川	古川橋

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。
 ※BODの年間の平均水質が報告下限値の0.5 mg/ℓ である地点を、水質が最も良好な地点としている。
 ※測定値が 0.5 mg/ℓ 未満の地点を含む。

主要河川別年平均水質

平成 26 年水質調査結果の概要

九州地方の主要河川（※）の中で平均的な水質が最も良好な河川（BOD 値が環境省の定める報告下限値 0.5mg/ℓ）は、五ヶ瀬川、小丸川、本庄川及び川辺川でした。

主要河川別の年平均水質（BOD 値）

水系名	河川名	調査地点		平成26年 各河川 のBOD年間 平均値 (75%値)	平成26年 各地点のBOD年間平均値	平成25年 各河川 のBOD年間 平均値 (75%値)
		地点 数	県名			
遠賀川	遠賀川	5	福岡県	1.3(1.5)	鶴三緒1.2、川島1.1、日の出橋1.1、伊佐座1.9、芦屋1.0	1.8(2.2)
	犬鳴川	2	福岡県	1.0(1.1)	春日橋0.9、粥田橋1.1	1.3(1.6)
	彦山川	3	福岡県	1.3(1.4)	今任橋0.9、糠橋1.5、中島1.5	1.9(2.0)
山国川	山国川	6	大分県 福岡県	0.9(1.0)	柿坂0.8、上菅木0.9、下唐原0.9、下宮永0.9、山国橋0.7、小祝0.9	1.1(1.2)
大分川	大分川	4	大分県	0.9(1.0)	明礮橋1.1、府内大橋0.8、広瀬橋1.0、弁天大橋0.8	1.2(1.4)
大野川	大野川	3	大分県	1.2(1.5)	白滝橋0.7、鶴崎橋2.1、家島0.9	1.4(1.7)
番匠川	番匠川	3	大分県	0.7(0.8)	番匠橋0.5、水路橋1.1、番匠川河口0.6	0.8(0.7)
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	2	宮崎県	0.5(0.5)	三輪0.5、松山橋0.5	0.5(0.5)
小丸川	小丸川	2	宮崎県	0.5(0.5)	高城橋<0.5、高鍋大橋<0.5	0.6(0.7)
大淀川	大淀川	7	宮崎県	0.9(1.0)	岳下橋1.1、志比田橋1.4、乙房橋1.0、樋渡橋0.7、大ノ丸橋0.7、相生橋0.6、小戸之橋（大淀大橋）0.5	1.3(1.5)
	本庄川	3	宮崎県	0.5(0.5)	綾南川橋<0.5、本庄橋0.5、柳瀬橋0.5	0.6(0.7)
肝属川	肝属川	4	鹿児島県	2.1(2.5)	朝日橋2.7、河原田橋2.5、俣瀬2.1、第二有明橋1.0	1.7(1.9)
川内川	川内川	7	鹿児島県	0.7(0.8)	亀沢橋0.6、栗野0.6、曾木大橋0.6、神子1.1、斧刈0.7、中郷0.7、小倉0.9	0.7(0.7)
球磨川	球磨川	7	熊本県	0.6(0.6)	多良木0.5、人吉0.6、西瀬橋0.5、天狗橋0.6、横石0.6、萩原橋0.6、金剛橋0.6	0.6(0.6)
	川辺川	5	熊本県	0.5(0.5)	五木宮園<0.5、神屋敷<0.5、五木<0.5、四浦0.5、柳瀬<0.5	0.5(0.5)
緑川	緑川	4	熊本県	1.0(1.1)	中甲橋0.6、城南0.8、上杉堰1.3、平木橋1.1	1.3(1.6)
白川	白川	3	熊本県	0.8(0.8)	小礮橋0.9、代継橋0.8、小島橋0.7	1.0(1.2)
菊池川	菊池川	5	熊本県	0.7(0.7)	広瀬0.5、中富0.6、山鹿0.7、白石0.9、高瀬0.6	1.1(1.1)
矢部川	矢部川	3	福岡県	1.0(1.1)	船小屋0.6、瀬高1.2、浦島橋1.1	1.3(1.7)
筑後川	筑後川	12	大分県 福岡県 熊本県	0.7(0.8)	杖立0.6、柚木0.7、大山水辺プラザ0.8、大宮橋0.6、三隈大橋0.6、島内堰0.6、川下0.7、荒瀬0.7、片ノ瀬0.8、神代橋0.7、瀬ノ下1.0、六五郎橋1.0	1.0(1.1)
嘉瀬川	嘉瀬川	4	佐賀県	1.0(1.1)	官人橋1.0、石井樋0.9、嘉瀬橋1.0、久保田橋1.2	1.4(1.6)
六角川	六角川	4	佐賀県	1.7(1.9)	潮見橋1.3、新橋2.0、六角橋1.0、住ノ江橋2.4	1.5(1.7)
	牛津川	3	佐賀県	1.3(1.4)	道祖元橋0.8、羽佐間堰0.9、砥川大橋2.1	1.3(1.6)
松浦川	松浦川	4	佐賀県	0.9(1.0)	和田山橋0.7、牟田部0.6、久里橋1.2、舞鶴橋1.0	1.1(1.1)
	巖木川	3	佐賀県	0.6(0.6)	古川橋<0.5、観音橋0.7、浦の川橋0.6	0.6(0.6)
本明川	本明川	4	長崎県	0.9(1.0)	鉄道橋0.6、天満公園前0.7、旭町0.8、不知火1.4	0.9(1.0)

※主要河川とは、一級河川の本川では直轄管理区間に調査地点が2以上ある河川。一級河川の支川では、直轄管理区間延長が10km以上、かつ調査地点が直轄管理区間に2以上ある河川。

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。

生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

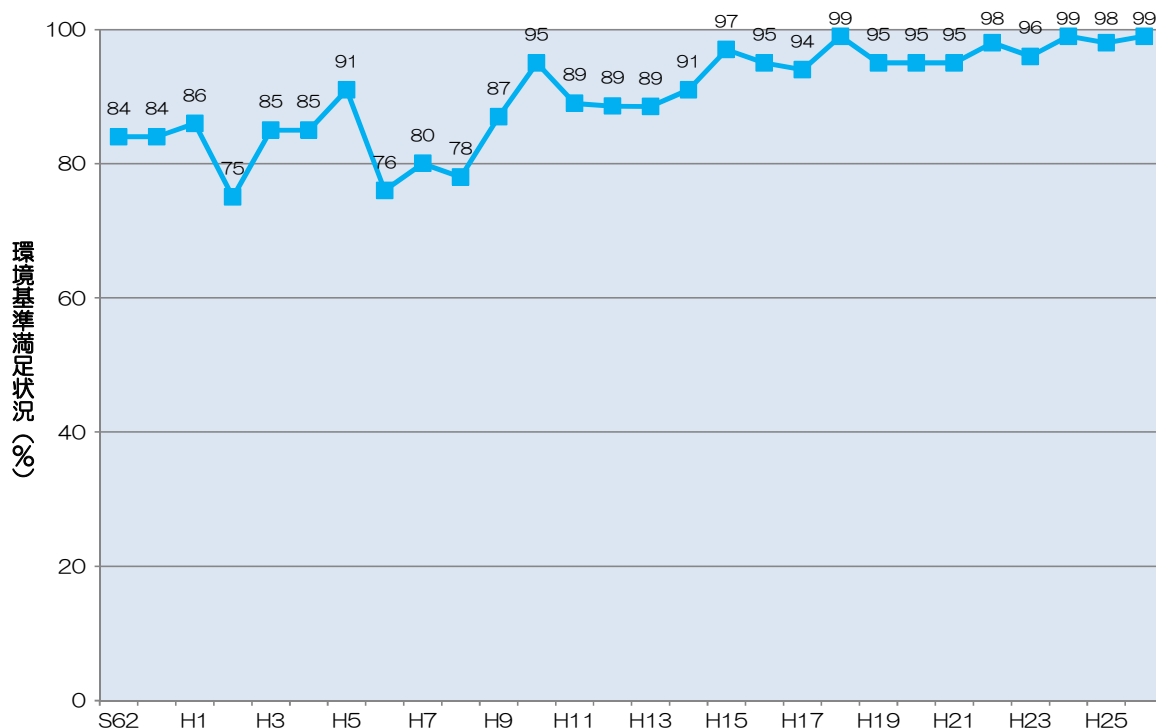
平成 26 年水質調査結果の概要

平成 26 年は、九州地方一級河川において環境基準の主要な指標である BOD（または COD）の基準を満足していた地点の割合は 99% でした。

また、近年 10 カ年（平成 16 年～平成 25 年）の平均 96% に比べて、3 ポイント高くなりました。

一級河川（湖沼を含む）において、生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD（生物化学的酸素要求量）または COD（化学的酸素要求量）の環境基準を満足している地点数割合の経年変化をみると、平成 26 年は 99% の 145 地点において環境基準を満足しており、高い割合を維持しています。（環境基準の類型が指定されている 147 地点での調査結果）

- 河川類型指定地点においては、環境基準地点 139 地点のうち、環境基準を満足していなかったのは、大野川水系大野川（鶴崎橋（A 類型 BOD2.0mg/ℓ 以下）、肝属川水系肝属川（俣瀬（A 類型 BOD2.0mg/ℓ 以下））の 2 地点でした。湖沼類型指定地点においては、環境基準地点 8 地点のすべての地点で環境基準を満足していました。
- 平成 25 年に環境基準を満足した地点で、平成 26 年に満足しなかった地点は、肝属川水系肝属川（俣瀬（A 類型 BOD2.0mg/ℓ 以下））の 1 地点でした。



一級河川（湖沼を含む）における環境基準の満足状況の経年変化

（平成 26 年：河川類型指定 139 地点、湖沼類型指定（環境基準地点）8 地点の合計 147 地点）
（河川類型指定地点は BOD 75% 値、湖沼類型指定地点は COD 75% 値での評価）

遠賀川 - 良好な水環境を目指して -

遠賀川河川事務所 河川環境課

遠賀川は、福岡県嘉麻市の馬見山を源とし、彦山川、犬鳴川などの支川を合わせながら、福岡県北部の筑豊地方を北に流れて響灘に注ぐ一級河川です。遠賀川流域は、稲作文化や石炭産業など古くから日本人の生活や文化と深く結びついており、現在では、自動車産業や教育機関が立地し、北九州市、福岡市のベッドタウンとして宅地開発が進んでいます。また、周辺の山々は耶馬日田英彦山園国定公園や北九州国定公園に指定され、人々の憩いの場や身近な自然環境として親しまれています。

遠賀川は、以前から水質汚濁の問題を抱えています。昭和初期の石炭産業の隆盛時には、石炭排水の影響で、『ぜんざい川』とよばれた黒い川でした。石炭による水質汚濁（SS）は、昭和40年頃から石炭産業の衰退により急激に改善されましたが、以降は、生活様式の変化により家庭排水に起因する水質汚濁（BOD）が顕著となり、九州の一級河川の中ではワーストの部類に属しています。しかし、河川管理者や下水道管理者、流域の市町村や住民等の関係者が一体となって水環境改善に取り組み、現在、水質は改善傾向にあります。

遠賀川流域での取組み

●遠賀川水系清流ルネッサンスⅡの取組み

遠賀川は、平成14年度に清流ルネッサンスⅡの対象河川に選定され、平成16年3月には、10年を目標に行動計画を策定しました。この結果、遠賀川水域全域でBODは改善され、平成23年度には清流ルネッサンスⅡ開始以来初めて、水質調査を行っている全ての地点において環境基準を満足するなど効果をあげてきました。計画目標年度であった平成24年度には計画を3年間延長し、現在も継続して水環境改善施策に取り組んでいます。

●流域住民団体の積極的な活動

遠賀川流域に活動拠点を持つ住民団体は80団体以上あり、個々に、あるいは連携して、流域の視点で遠賀川全体のために活動する取組みが活発に行われています。清掃活動やサケの稚魚放流、源流の森での植樹活動、水質・水生生物調査といった環境学習など、様々な活動がなされています。



計画当初(H12~H14年度平均値)



現況(H23~H25年度平均値)



●流域全体での河川環境の維持・保全の活動

遠賀川流域では、流域市町村及び関係機関が連携して5月30日を「遠賀川ゴミゼロの日」と定め、平成21年度より「春の遠賀川一斉清掃」（毎年5月11日～6月10日）を実施しています。平成26年は1万1千人が参加して約31tのゴミを回収するなど、流域全体で河川環境の維持・保全に取り組んでいます。

●遠賀川流域リーダーサミットの開催と流域宣言

平成19年度から、国土交通省遠賀川河川事務所とNPO法人遠賀川流域住民の会との共催で、流域の市町村長が集まる「I LOVE 遠賀川リーダーサミット」を2年に1度開催し、遠賀川の水質改善等について意見交換をしています。

平成24年1月に開催した第3回のリーダーサミットでは、福岡県知事も交えて、遠賀川流域22市町村長が一堂に会し、遠賀川を美しい川にして次世代に引き継ぐために、流域住民、事業者、行政が連携し、一体となって取り組んでいくことを『遠賀川流域宣言』として宣言しました。

遠賀川流域宣言

遠賀川は人々に限りない恵みを与え、生活に潤いと調和をもたらす私たちの「いのちの川」です。そして産業、経済の礎となって流域の歴史を育んできました。

しかしながら、近年における社会経済の変化に伴い、水質汚濁やゴミの不法投棄などにより河川環境が悪化してきました。

私たちは、悠久の歴史を刻んできた母なる川、遠賀川を流域22市町村共有の貴重な財産であると認識し、子や孫、そして将来この流域を訪れるすべての人たちのために、美しく豊かな河川環境とその生態系を守り続けなければなりません。

ここに、流域に住む私たちみんなが連携して次のことに取り組み、遠賀川をより美しい川として次の世代へ引き継ぐことを宣言します。

1. 私たちは、水源の山々から海までつながり響きあう、いのちの環を育てます。
遠賀川の豊かな水の流れや生態系を守るため、山・川・海と水でつながる流域の人々がお互いを思いやり、一体となって水源の森林や多様な生物の生息・生育環境を守り育てます。
2. 私たちは、ふるさとの川、遠賀川を誇りに思い、みんなで守ります。
遠賀川が、安らぎや愛着を感じるふるさとの風景となるよう、人々の五感に心地よい川づくりに取り組むと共に、川に学び、川を見守る活動を通じて、遠賀川をより深く理解し、大切に守ります。
3. 私たちは、深い感謝の心をもって、遠賀川に礼をつくします。
遠賀川をより清く美しくするために、住民、事業者及び行政が連携して、関連する法令を守り、污水处理施設の整備促進、生活排水対策、ゴミゼロにむけた一斉清掃など日々の努力を続けます。

平成24年1月22日



遠賀川流域の22市町村

● 北九州市長	北橋 健治	● 直方市長	向野 敬昭
● 飯塚市長	齊藤 守史	● 田川市長	伊藤 信勝
● 中間市長	松下 俊男	● 宮若市長	有吉 哲信
● 嘉麻市長	松岡 賛	● 芦屋町長	波多野 茂丸
● 水巻町長	近藤 進也	● 岡垣町長	宮内 實生
● 遠賀町長	原田 正武	● 小竹町長	松尾 勝徳
● 鞍手町長	祭田 好輝	● 桂川町長	井上 利一
● 鏡前町長	田頭 喜久己	● 香春町長	加治 忠一
● 添田町長	寺西 明男	● 糸田町長	伊藤 良克
● 川崎町長	小田 幸男	● 大任町長	永原 謙二
● 赤村長	春本 武男	● 福智町長	浦田 弘二

※順不同、敬称略



遠賀川流域 22 市長村長、福岡県知事、遠賀川事務所長

遠賀川河川事務所ホームページ

による流域宣言（平成 24 年 1 月 22 日）

<http://www.asr.mlit.go.jp/onga/index.html>

平成 26 年新しい水質指標による 調査結果の概要

新しい水質指標とは、近年、人と河川のふれあいや生態系への関心など、多様な視点で河川が捉えられるようになってきている状況の中、河川をBODだけでなく多様な視点で評価できるように国土交通省が独自に検討・作成した指標です。この指標は、住民との協働による測定項目及び河川等管理者による測定項目からなり、河川を多様な視点で評価するよりわかりやすい調査手法で、平成17年から実施しています。

新しい水質指標について

平成 26 年新しい水質指標による調査結果の概要

河川をBODだけでなく多様な視点で評価する新しい水質指標による調査を、平成 17 年から実施しています。このうち、住民による測定が可能な項目（水のおいや川底の感触、ゴミの量など）については住民との協働による調査も含め実施しました。

国土交通省では、河川水質管理において、住民や利水者の河川水質・河川環境に対して多様化するニーズに応えるため、『今後の河川水質管理の指標（新しい水質指標）について（案）』を平成 17 年 3 月に策定し、

- ①人と河川の豊かなふれあいの確保、
- ②豊かな生態系の確保、
- ③利用しやすい水質の確保、
- ④下流域や滞留域への影響の少ない水質の確保、

の 4 つの河川水質管理の視点別に指標のランクを設定しています。この指標は住民との協働による測定項目及び河川等管理者による測定項目からなり、河川を多様な視点で評価するよりわかりやすい調査手法で、平成 17 年より実施しています。

このなかで、水のおいや川底の感触、ゴミの量などについては、住民との協働による調査を実施しています。

①人と河川の豊かなふれあいの確保

住民との協働項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル※1)				糞便性大腸菌群数 (個/100ml) ※4)
			ゴミの量	透視度 (cm) ※2)	川底の感触 ※3)	水のおいや	
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上 ※2)	不快感がない	不快でない	100 以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	ところどころヌルヌルしているが、不快でない		1000 以下
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	ヌルヌルしており不快である	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる	1000 を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		風下の水際に立つと、とても不快な臭いを感じる	

※1) 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、住民による感覚調査等を実施し、設定することが望ましい。

※2) 水の濁り具合を示す指標で、値が大きいほど濁りが少ない。実際には 100cm を超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の開発が望まれる。

※3) 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。そのため、川底の感触は、ダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

※4) 人や動物の排泄物に由来する大腸菌群により、水の汚染状況を調べる指標。

②豊かな生態系の確保

住民との協働項目

ランク	説明	評価項目と評価レベル		
		DO(mg/ℓ) *1)	NH4-N(mg/ℓ) *2)	水生生物の生息 *3)
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

※1) 溶存酸素。水生生物が生きていくうえで不可欠な水中の酸素量。

※2) アンモニウム態窒素。水生生物に影響を与える毒性を評価する指標。

※3) 水生生物の生息は流れのある瀬で調査を実施する。そのため、水生生物の生息はダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

③利用しやすい水質の確保

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		安全性	快適性	維持管理性	維持管理性
		トリハロメタン 生成能(μg/ℓ) *1)	2-MIB (ng/ℓ) *2)	ジオスミン (ng/ℓ) *2)	NH4-N (mg/ℓ) *3)
A	より利用しやすい	100以下	5以下	10以下	0.1以下
B	利用しやすい		20以下	20以下	0.3以下
C	利用するためには 高度な処理が必要	100を超えるもの	20を超えるもの	20を超えるもの	0.3を超えるもの

※1) トリハロメタン（発ガン性有り）の潜在的な生成量を示す項目で、水の安全性を評価する指標。

※2) カビ臭に関連する項目で、水の臭いや味覚を評価する指標。

※3) NH4-Nが多いと多量の塩素が必要となるため、水道水としての維持管理等を評価する指標。

※『下流域や滞留域への影響の少ない水質の確保』の指標については、一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では下流域への影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、評価項目が設定されておらず、ここでも特に記載していません。

調査結果は、以下に示すとおりの方法で、水質管理の視点に応じて評価を行いました。

水質管理の視点	地点の評価法	調査地点の年間評価法
①人と河川の豊かな ふれあいの確保	評価項目の各評価レベルのうち、 もっとも低いランクを地点のランク とする。	各調査回の地点ランクのうち、最頻ランクを地点の年間ランクとする。 ただし、最頻ランクが2つ以上ある場合は、低いほうのランクを地点の年間ランクとする。
②豊かな生態系の確保		各調査回の地点ランクのうち、最も低いランクを地点の年間ランクとする。
③利用しやすい水質 の確保		各調査回の地点ランクの95%値を地点のランクとする。

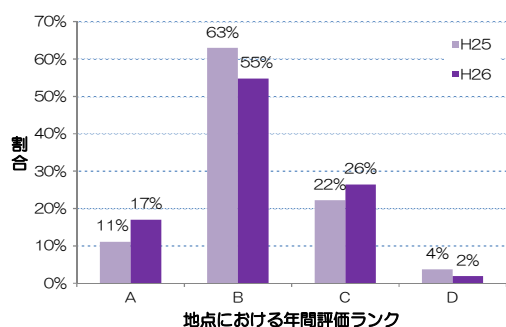
新しい水質指標に基づく調査結果

平成 26 年新しい水質指標による調査結果の概要

『人と河川の豊かなふれあいの確保（4 段階）』の視点においては B ランクの地点が多く、『豊かな生態系の確保（4 段階）』の視点及び『利用しやすい水質の確保（3 段階）』の視点においては A ランクの地点が多くありました。

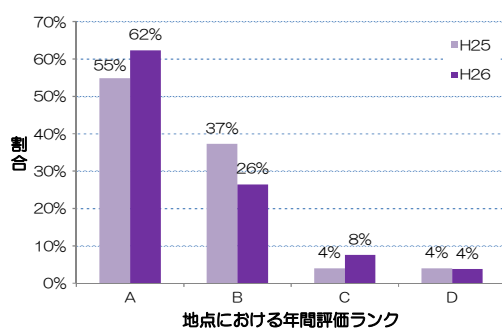
また、平成 25 年に比べて、各視点の A ランク割合が増加しました。

- ①『人と河川の豊かなふれあいの確保』に関する調査は、18 水系 34 河川 53 地点において実施し、うち 44 地点において住民との協働により調査を実施しました。
- ②『豊かな生態系の確保』に関する調査は、18 水系 34 河川 53 地点において実施し、うち 43 地点において住民との協働により調査を実施しました。
- ③『利用しやすい水質の確保』に関する調査は、12 水系 13 河川 15 地点において実施しました。



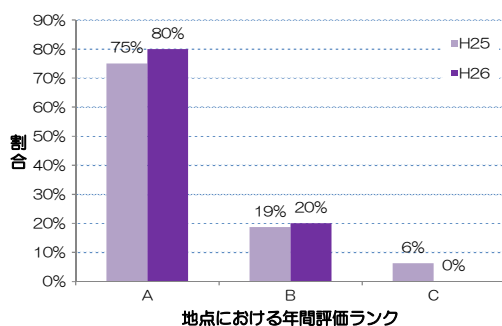
ランク	調査地点数		割合	
	H25	H26	H25	H26
A ランク	6	9	11%	17%
B ランク	34	29	63%	55%
C ランク	12	14	22%	26%
D ランク	2	1	4%	2%
計	54	53	100%	100%

①『人と河川の豊かなふれあいの確保』の視点のランク別割合



ランク	調査地点数		割合	
	H25	H26	H25	H26
A ランク	28	33	55%	62%
B ランク	19	14	37%	26%
C ランク	2	4	4%	8%
D ランク	2	2	4%	4%
計	51	53	100%	100%

②『豊かな生態系の確保』の視点のランク別割合



ランク	調査地点数		割合	
	H25	H26	H25	H26
A ランク	12	12	75%	80%
B ランク	3	3	19%	20%
C ランク	1	0	6%	0%
計	16	15	100%	100%

③『利用しやすい水質の確保』の視点のランク別割合

平成 26 年人の健康の保護に関する 項目の調査結果の概要

人の健康の保護に関する項目（健康項目）は、水環境の汚染を通じて人の健康に影響を及ぼすおそれがあり、対策を適切に講じていく必要があると考えられる物質です。環境基本法に基づき公共用水域に一律に適用されるものとして、27項目が定められています。

九州地方一級河川では、水質汚濁に係る環境基準地点や公共用水域の水質を総合的に把握できる地点などで測定を行っています。

人の健康の保護に関する項目の調査結果

平成 26 年人の健康の保護に関する項目の調査結果の概要

人の健康の保護に関する項目（健康項目）が環境基準を満足した地点の割合は約 99%でした。

平成26年における九州地方一級河川の直轄管理区間の健康項目全体の環境基準満足率は99%でした。

環境基準超過がみられたのは、ふっ素の1項目であり、海水の影響によるものでした。

健康項目の水質調査結果

項目名	調査地点数	調査検体数	超過地点数
カドミウム	52	60	—
全シアン	52	60	—
鉛	53	73	—
六価クロム	52	60	—
砒素	55	85	—
総水銀	52	61	—
アルキル水銀	9	9	—
PCB	32	35	—
ジクロロメタン	48	55	—
四塩化炭素	48	56	—
1, 2-ジクロロエタン	48	55	—
1, 1-ジクロロエチレン	48	55	—
シス-1, 2-ジクロロエチレン	48	55	—
1, 1, 1-トリクロロエタン	48	55	—
1, 1, 2-トリクロロエタン	48	56	—
トリクロロエチレン	48	55	—
テトラクロロエチレン	48	56	—
1, 3-ジクロロプロペン	50	58	—
チウラム	50	57	—
シマジン	50	58	—
チオベンカルブ	50	57	—
ベンゼン	48	55	—
セレン	46	54	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	60	229	—
ふっ素	41	74	1
ほう素	40	72	—
1, 4-ジオキサン	15	16	—
合計	1,239	1,671	1

平成 26 年度ダイオキシン類・ 内分泌かく乱化学物質の実態 調査結果の概要

ダイオキシン類とは、ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン(PCDD)』、『ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)』、『コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)』の3種の化合物群です。工業的に製造する物質ではなく、ごみ焼却の過程などで非意図的に生成される物質であり、毒性が非常に強く、残留性が高い物質です。

また、内分泌かく乱化学物質とは、動物の生体内に取り込まれた場合に、本来、その生体内で営まれている正常なホルモン作用に影響を与える外因性の物質です。

国土交通省では、ダイオキシン類については平成11年度から、内分泌かく乱化学物質として疑いのある物質については平成10年度から全国一級水系で継続的に調査を実施しています。

ダイオキシン類実態調査結果

平成 26 年度ダイオキシン類・内分泌かく乱化学物質の実態調査結果の概要

平成 26 年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、いずれの地点においても水質・底質の環境基準（水質：1pg-TEQ/l 底質：150pg-TEQ/g）を満足しました。

ダイオキシン類（※1）については、平成 11 年度から管内 20 水系 44 地点において継続的に水質と底質の調査を実施しており、平成 26 年度は 20 水系 30 地点において調査を実施しました。

水質・底質ともに、年間の評価値では全地点で環境基準を満足しました。また、要監視濃度（※2）を超過した地点はありませんでした。調査結果の概要を下表に示します。

※1… ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン』『ポリ塩化ジベンゾフラン』『ダイオキシン様塩化ビフェニル』の 3 種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

※2… 国土交通省が重点的に監視する際の目安として定めている濃度で、環境基準値の 1/2。要監視濃度を超過した地点については、その後の調査で 8 回連続して要監視濃度を下回るまで、重点監視地点として年 4 回の調査（通常の調査地点は年 1 回）を実施する。

ダイオキシン類の調査結果の概要（年間の評価値）

	調査地点数	環境基準を超えた地点数	要監視濃度を超過した地点数
水質	30 地点	0 地点	0 地点
底質	30 地点	0 地点	0 地点

ダイオキシン類の毒性評価について

ダイオキシン類は塩素数及び塩素の置換位置によりその毒性が大きく異なり、毒性を評価する際には、異性体毎に、濃度に毒性の強さを表す係数（毒性等価係数：TEF）をかけて、最も毒性の強い 2,3,7,8-TCDD に換算した値を用いられています。

その毒性等価係数を実測値にかけたものを毒性等量（TEQ）といい、ダイオキシン類の濃度を表すときは、この TEQ に換算した数値を用います。

微量物質のための単位（重さを量る単位）

kg（キログラム）		
g（グラム）		
mg（ミリグラム）	=10 ⁻³ g	（千分の 1 グラム）
μg（マイクログラム）	=10 ⁻⁶ g	（100 万分の 1 グラム）
ng（ナノグラム）	=10 ⁻⁹ g	（10 億分の 1 グラム）
pg（ピコグラム）	=10 ⁻¹² g	（1 兆分の 1 グラム）

内分泌かく乱化学物質実態調査結果

平成 26 年度ダイオキシン類・内分泌かく乱化学物質の実態調査結果の概要

平成 26 年度に実施した内分泌かく乱物質の実態調査では、すべての地点で重点調査濃度を満足していました。

内分泌かく乱物質（※1）については、平成 10 年度（一部項目については平成 12 年度）より管内 20 水系 20 地点において調査を実施しており、平成 26 年度は 3 水系 3 地点において 4 項目の調査を実施しました。

平成 26 年度調査で重点調査濃度（※2）を超過した地点はありませんでした。各項目ごとの調査結果の概要を下表に示します。

※1… 内分泌系に影響を及ぼすことにより、生体に障害や有害な影響を引き起こす外因性の化学物質。

※2… 国土交通省が重点的に調査を実施する際の日安として物質ごとに定めた濃度。各項目によってその濃度は異なり、定めていない項目もある。重点調査濃度を超過した項目については、年 1 回の調査を継続的に実施する。重点調査濃度を 3 年連続して下回った場合は、重点調査地点を解除し、一般調査地点として 6 年に 1 回監視を行う。

内分泌かく乱物質の調査結果の概要

物質名	調査地点数	重点調査濃度を越えた地点数
水質		
ビスフェノールA	3	0
エストロン	3	0
17β-エストラジオール	3	0
o,p'-DDT	3	0

平成 26 年水質事故の発生状況 の概要

平成 26 年に発生した九州地方一級河川管内の水質事故件数は、73 件でした。なお、上水道の取水停止を伴った水質事故はありませんでした。

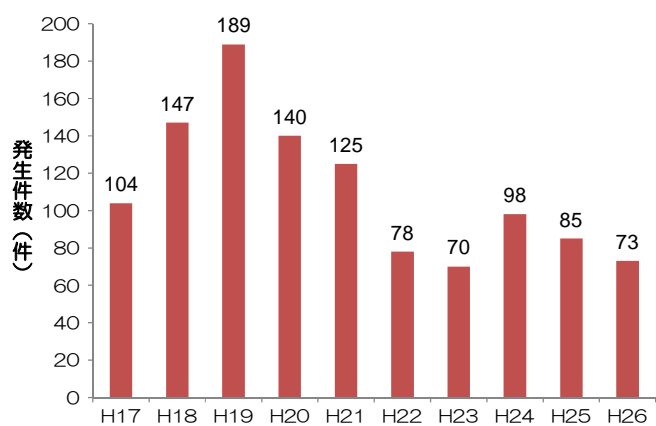
水質事故は発生の予見が難しいこと、発生初期における迅速な対応が被害の拡大防止につながることから、関係機関の密接な連携が不可欠です。そのため、九州地方一級河川において、河川管理者と関係機関からなる「水質汚濁防止連絡協議会」が設置され、休日夜間を問わず水質事故状況の速やかな情報伝達及びオイルフェンス設置等の緊急措置を講じています。

水質事故の発生状況

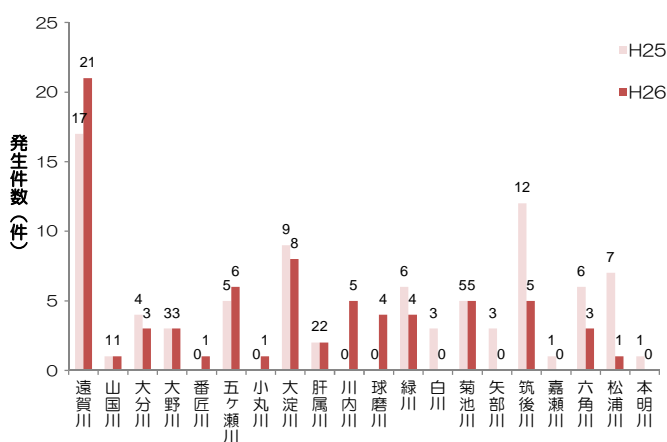
平成 26 年水質事故の発生状況の概要

平成 26 年に九州地方整備局管内の一級河川の 20 水系で確認された水質事故は 73 件で、平成 25 年に比べて 12 件減少しました。

水系別では遠賀川水系の確認件数が 21 件で最多でした。水質事故の種類別では油類の流出によるものが多く、原因別では原因不明を除き工場等での操作ミス及び交通事故が多い状況でした。また、九州全体の事故確認件数は平成 19 年をピークに減少傾向にあります。

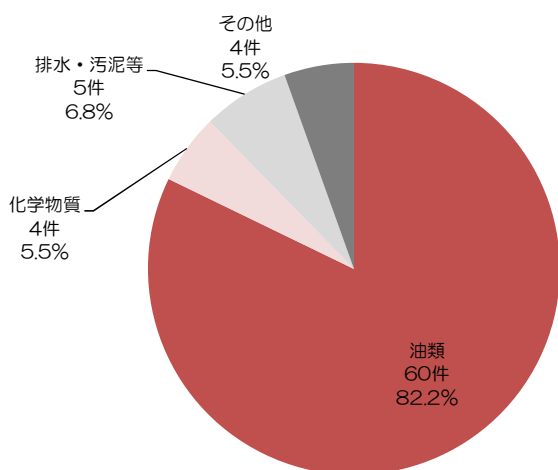


水質事故発生状況

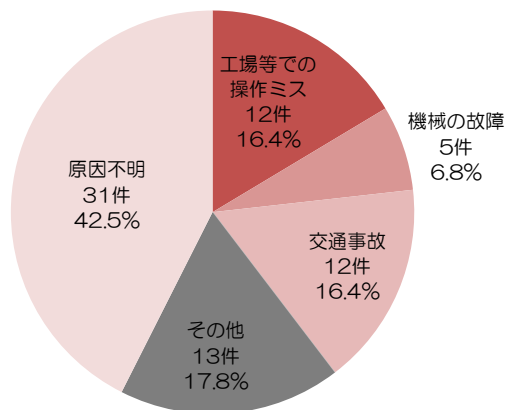


水系別水質事故確認件数

平成 26 年『種類』別割合



平成 26 年『原因』別割合



平成 26 年水質事故「種類」「原因」別割合

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

調査結果

1. 九州地方一級河川の全地点の水質

番号	水系名	河川名	地点名	BOD(mg/l)		
				平成26年		
				類型	平均値	75%値
1	遠賀川	遠賀川	鶴三緒	B	1.2	1.4
2	遠賀川	遠賀川	川島	B	1.1	1.1
3	遠賀川	遠賀川	日の出橋	B	1.1	1.3
4	遠賀川	遠賀川	伊左座	B	1.9	2.5
5	遠賀川	遠賀川	芦屋	B	1.0	1.2
6	遠賀川	穂波川	東町橋	B	1.1	1.4
7	遠賀川	彦山川	今任橋	A	0.9	0.9
8	遠賀川	彦山川	糰橋	B	1.5	1.7
9	遠賀川	彦山川	中島	B	1.5	1.6
10	遠賀川	金辺川	高木橋	A	1.5	1.5
11	遠賀川	中元寺川	皆添橋	B	1.5	1.7
12	遠賀川	犬鳴川	春日橋	B	0.9	1.0
13	遠賀川	犬鳴川	粥田橋	B	1.1	1.2
14	遠賀川	西川	島津橋	B	1.6	1.7
15	山国川	山国川	柿坂	A	0.8	0.8
16	山国川	山国川	上曾木	A	0.9	1.0
17	山国川	山国川	下唐原	A	0.9	1.1
18	山国川	山国川	下宮永	A	0.9	1.1
19	山国川	山国川	山国橋	A	0.7	0.7
20	山国川	山国川	小祝	A	0.9	1.0
21	山国川	中津川	北門橋	未	0.8	0.9
22	大分川	大分川	明礮橋	A	1.1	1.0
23	大分川	大分川	府内大橋	A	0.8	0.9
24	大分川	大分川	広瀬橋	B	1.0	1.1
25	大分川	大分川	弁天大橋	B	0.8	0.9
26	大分川	七瀬川	光吉	A	0.6	0.7
27	大野川	大野川	白滝橋	A	0.7	0.7
28	大野川	大野川	鶴崎橋	A	2.1	3.2
29	大野川	大野川	家島	A	0.9	0.7
30	大野川	乙津川	海原橋	A	1.1	1.3
31	番匠川	番匠川	番匠橋	A	0.5	<0.5
32	番匠川	番匠川	水路橋	A	1.1	1.2
33	番匠川	番匠川	番匠川河口	A	0.6	0.7
34	番匠川	堅田川	茶屋ヶ鼻橋	A	0.8	0.9
35	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	A	0.5	<0.5
36	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	松山橋	A	0.5	0.5
37	五ヶ瀬川	大瀬川	大瀬橋	A	0.5	0.5
38	五ヶ瀬川	祝子川	中州合流点	A	0.7	0.8
39	五ヶ瀬川	北川	白石	A	0.6	0.6
40	小丸川	小丸川	高城橋	AA	<0.5	<0.5
41	小丸川	小丸川	高鍋大橋	A	<0.5	<0.5
42	小丸川	宮田川	宮田川水門	B	0.8	0.8
43	大淀川	大淀川	岳下橋	A	1.1	1.3
44	大淀川	大淀川	志比田橋	B	1.4	1.6
45	大淀川	大淀川	乙房橋	B	1.0	1.2
46	大淀川	大淀川	樋渡橋	A	0.7	0.8
47	大淀川	大淀川	大ノ丸橋	A	0.7	0.8
48	大淀川	大淀川	相生橋	A	0.6	0.6
49	大淀川	大淀川	小戸之橋(大淀大橋)	A	0.5	0.5
50	大淀川	年見川	宮丸橋	A	0.8	1.0

番号	水系名	河川名	地点名	BOD(mg/l)		
				平成26年		
				類型	平均値	75%値
51	大淀川	綾北川	入野橋	A	0.5	<0.5
52	大淀川	本庄川	綾南川橋	A	<0.5	<0.5
53	大淀川	本庄川	本庄橋	A	0.5	<0.5
54	大淀川	本庄川	柳瀬橋	A	0.5	0.5
55	大淀川	深年川	太田原橋	A	0.5	0.5
56	大淀川	八重川	番所橋	未	0.9	0.9
57	肝属川	肝属川	朝日橋	B	2.7	3.0
58	肝属川	肝属川	河原田橋	B	2.5	2.9
59	肝属川	肝属川	俣瀬	A	2.1	2.9
60	肝属川	肝属川	第二有明橋	A	1.0	1.2
61	肝属川	下谷川	田崎橋	未	1.6	1.4
62	肝属川	始良川	始良橋	未	0.6	<0.5
63	肝属川	高山川	新前田橋	未	0.8	1.0
64	肝属川	串良川	串良橋	A	1.2	1.4
65	川内川	川内川	亀沢橋	A	0.6	0.6
66	川内川	川内川	栗野	A	0.6	<0.5
67	川内川	川内川	曾木大橋	A	0.6	0.6
68	川内川	川内川	神子	A	1.1	1.3
69	川内川	川内川	斧渕	A	0.7	0.7
70	川内川	川内川	中郷	A	0.7	0.7
71	川内川	川内川	小倉	A	0.9	1.0
72	川内川	羽月川	花北	未	0.6	0.5
73	球磨川	球磨川	多良木	A	0.5	0.5
74	球磨川	球磨川	人吉	A	0.6	0.6
75	球磨川	球磨川	西瀬橋	A	0.5	0.6
76	球磨川	球磨川	天狗橋	A	0.6	0.6
77	球磨川	球磨川	横石	A	0.6	0.6
78	球磨川	球磨川	萩原橋	A	0.6	0.6
79	球磨川	球磨川	金剛橋	A	0.6	0.6
80	球磨川	前川	前川橋	A	0.6	0.7
81	球磨川	川辺川	五木宮園	AA	<0.5	<0.5
82	球磨川	川辺川	神屋敷	AA	<0.5	<0.5
83	球磨川	川辺川	五木	AA	<0.5	<0.5
84	球磨川	川辺川	四浦	A	0.5	<0.5
85	球磨川	川辺川	柳瀬	A	<0.5	<0.5
86	球磨川	五木小川	元井谷	未	<0.5	<0.5
87	緑川	緑川	中甲橋	A	0.6	0.5
88	緑川	緑川	城南	A	0.8	1.0
89	緑川	緑川	上杉堰	A	1.3	1.7
90	緑川	緑川	平木橋	B	1.1	1.3
91	緑川	御船川	五庵橋	A	0.5	0.5
92	緑川	加勢川	大六橋	A	1.2	1.3
93	緑川	浜戸川	大曲	B	1.2	1.5
94	白川	白川	小礮橋	B	0.9	0.7
95	白川	白川	代継橋	B	0.8	0.9
96	白川	白川	小島橋	B	0.7	0.8
97	菊池川	菊池川	広瀬	A	0.5	<0.5
98	菊池川	菊池川	中富	A	0.6	0.6
99	菊池川	菊池川	山鹿	A	0.7	0.8
100	菊池川	菊池川	白石	A	0.9	1.1

注1) 報告下限値を0.5mg/lとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。

注2) 類型が未指定の地点は、類型を「未」と表示している。

注3) 「黄色塗り潰し」箇所は環境基準を満足していない地点である。

1. 九州地方一級河川の全地点の水質（続き）

番号	水系名	河川名	地点名	BOD(mg/l)		
				平成26年		
				類型	平均値	75%値
101	菊池川	菊池川	高瀬	A	0.6	0.5
102	菊池川	迫間川	高田橋	A	0.6	0.6
103	菊池川	合志川	芦原	A	1.5	1.6
104	菊池川	岩野川	八幡	未	0.8	0.8
105	菊池川	繁根木川	永徳寺	未	0.5	<0.5
106	矢部川	矢部川	船小屋	A	0.6	0.7
107	矢部川	矢部川	瀬高	A	1.2	1.1
108	矢部川	矢部川	浦島橋	B	1.1	1.5
109	矢部川	飯江川	古賀橋	A	1.6	1.7
110	矢部川	飯江川	丁字橋	C	1.6	2.1
111	筑後川	筑後川	杖立	AA	0.6	0.6
112	筑後川	筑後川	柚木	A	0.7	0.7
113	筑後川	筑後川	大山水辺プラザ	A	0.8	0.8
114	筑後川	筑後川	大宮橋	A	0.6	0.6
115	筑後川	筑後川	三隈大橋	A	0.6	0.6
116	筑後川	筑後川	島内堰	A	0.6	0.6
117	筑後川	筑後川	川下	A	0.7	0.7
118	筑後川	筑後川	荒瀬	A	0.7	0.7
119	筑後川	筑後川	片ノ瀬	A	0.8	0.8
120	筑後川	筑後川	神代橋	A	0.7	0.7
121	筑後川	筑後川	瀬ノ下	A	1.0	1.2
122	筑後川	筑後川	六五郎橋	B	1.0	1.2
123	筑後川	玖珠川	小ヶ瀬	A	0.6	0.6
124	筑後川	宝満川	酒井東橋	B	1.3	1.1
125	嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋	A	1.0	1.2
126	嘉瀬川	嘉瀬川	石井樋	A	0.9	1.0
127	嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬橋	A	1.0	1.0
128	嘉瀬川	嘉瀬川	久保田橋	D	1.2	1.3
129	六角川	六角川	潮見橋	A	1.3	1.2
130	六角川	六角川	新橋	D	2.0	2.2
131	六角川	六角川	六角橋	D	1.0	1.3
132	六角川	六角川	住ノ江橋	E	2.4	2.7
133	六角川	牛津川	道祖元橋	A	0.8	0.8
134	六角川	牛津川	羽佐間堰	C	0.9	1.0
135	六角川	牛津川	砥川大橋	D	2.1	2.5
136	松浦川	松浦川	和田山橋	A	0.7	0.7
137	松浦川	松浦川	牟田部	A	0.6	0.6
138	松浦川	松浦川	久里橋	A	1.2	1.7
139	松浦川	松浦川	舞鶴橋	A	1.0	0.8
140	松浦川	巖木川	古川橋	A	<0.5	<0.5
141	松浦川	巖木川	観音橋	A	0.7	0.6
142	松浦川	巖木川	浦の川橋	A	0.6	0.6
143	松浦川	徳須恵川	徳須恵橋	A	0.9	1.1
144	本明川	本明川	鉄道橋	A	0.6	0.7
145	本明川	本明川	天満公園前	B	0.7	0.8
146	本明川	本明川	旭町	B	0.8	1.0
147	本明川	本明川	不知火	B	1.4	1.7
148	本明川	半造川	半造橋	未	2.4	3.0

番号	水系名	河川名	地点名	BOD(mg/l)		
				平成26年		
				類型	平均値	75%値
149	松浦川	巖木川	巖木ダムK-1	A	1.3	1.7
150	山国川	山移川	耶馬溪ダムYL-1	未	2.2	2.8
151	筑後川	津江川	下釜ダムS-1	未	0.8	1.0

番号	水系名	河川名	地点名	COD(mg/l)		
				平成26年		
				類型	平均値	75%値
152	川内川	川内川	鶴田ダムST-1	A	2.6	2.7
153	川内川	川内川	鶴田ダムST-III	A	2.2	2.4
154	緑川	緑川	緑川ダムSt-2	A	1.5	1.6
155	菊池川	迫間川	竜門ダム(ダム基準点)	A	1.7	1.9
156	菊池川	迫間川	竜門ダム(副基準点)	A	1.9	2.0
157	筑後川	筑後川	松原ダムM-1	A	1.6	1.8
158	筑後川	筑後川	松原ダムM-3	A	1.5	1.7
159	筑後川	佐田川	寺内ダム	A	2.0	2.2

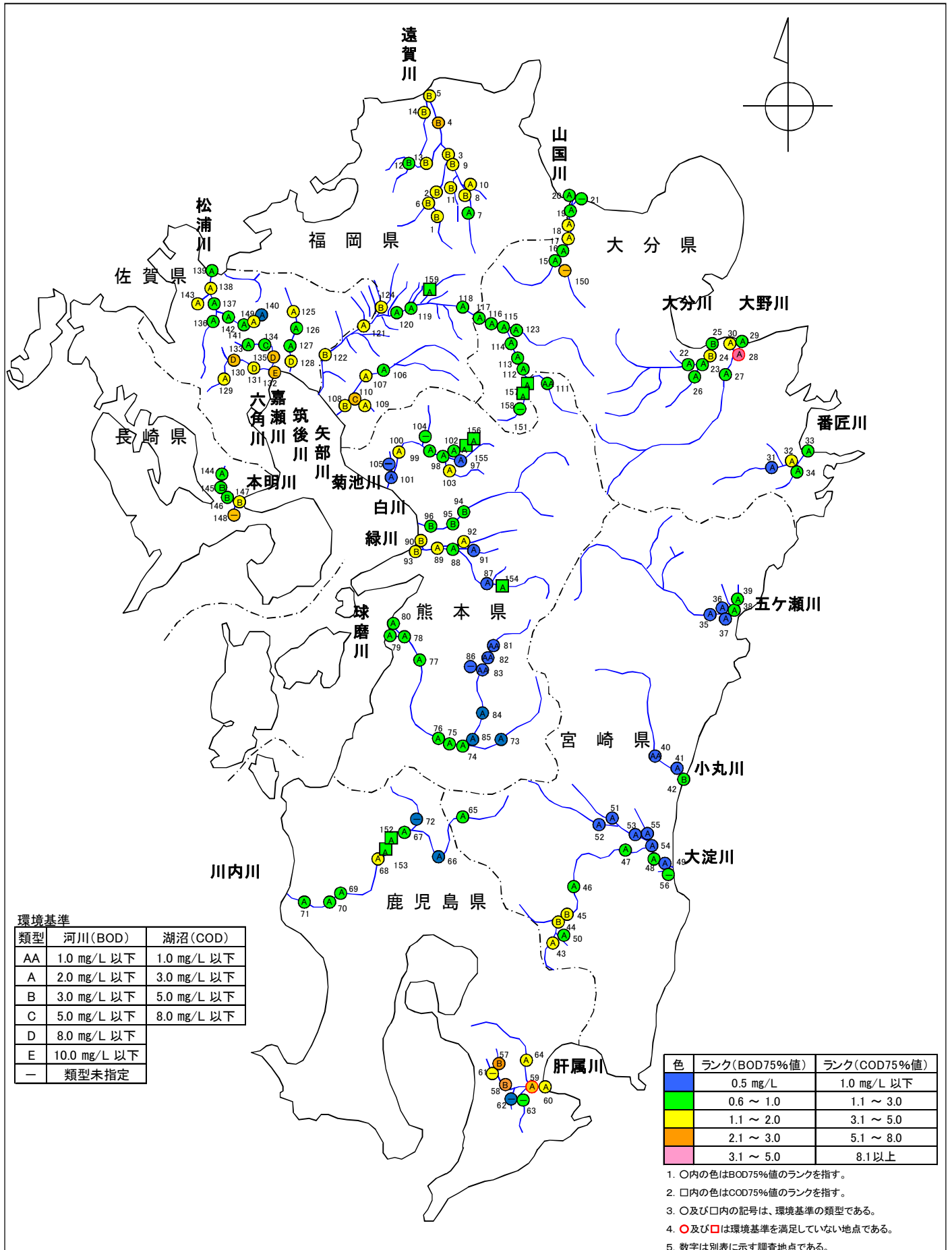
	水系名	河川名	地点名	COD(mg/l)		
				平成26年		
				類型	平均値	75%値
参考	松浦川	巖木川	巖木ダムK-1	A	2.4	2.7
参考	山国川	山移川	耶馬溪ダムYL-1	未	4.0	4.8
参考	筑後川	津江川	下釜ダムS-1	未	1.5	1.5

注1) 報告下限値を0.5mg/lとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。

注2) 類型が未指定の地点は、類型を「未」と表示している。

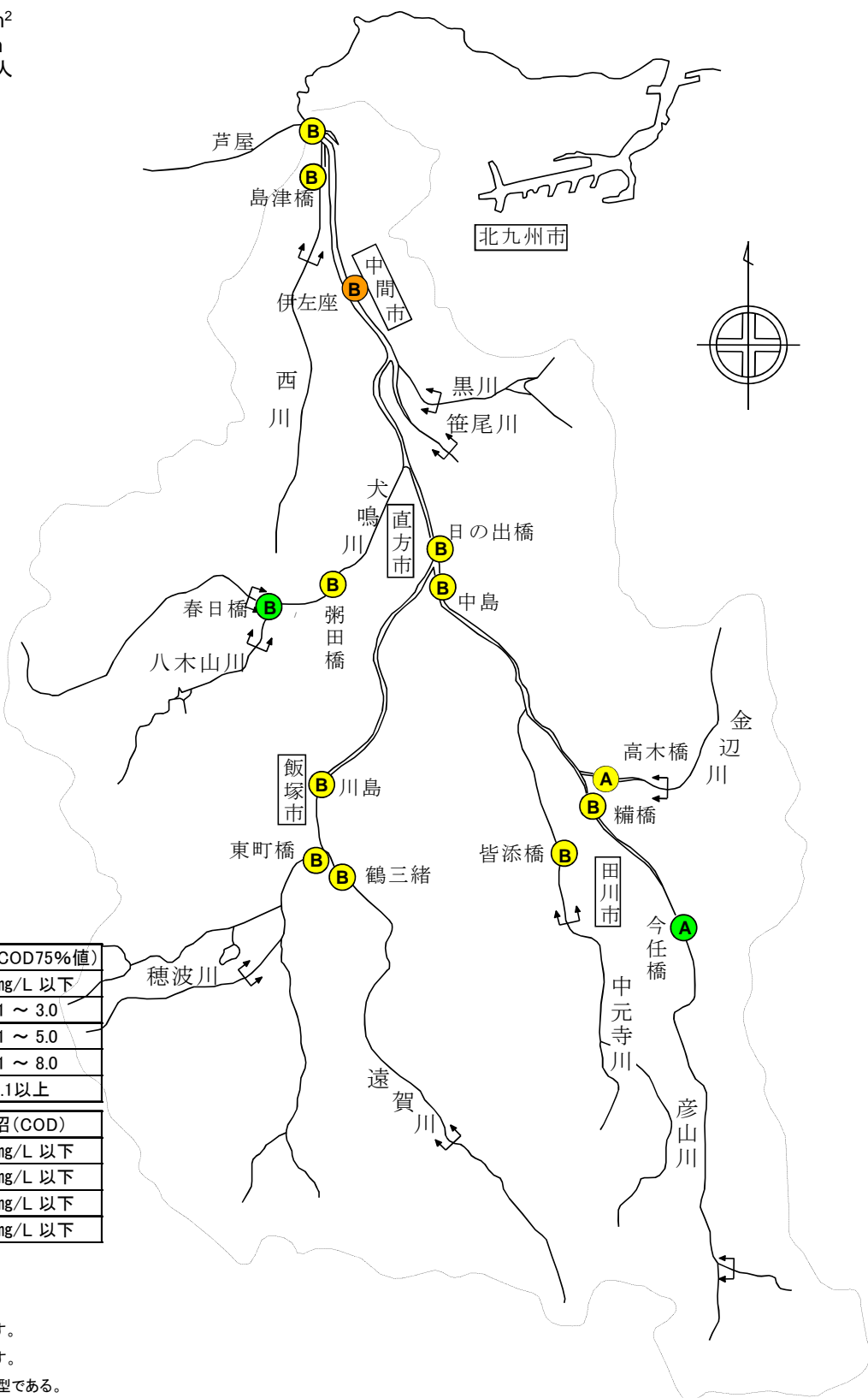
注3) 「黄色塗り潰し」箇所は環境基準を満足していない地点である。

2. 九州地方一級河川の全地点の水質調査位置図



遠賀川

流域面積 1,026km²
 幹線流路延長 61km
 流域内人口 約670千人



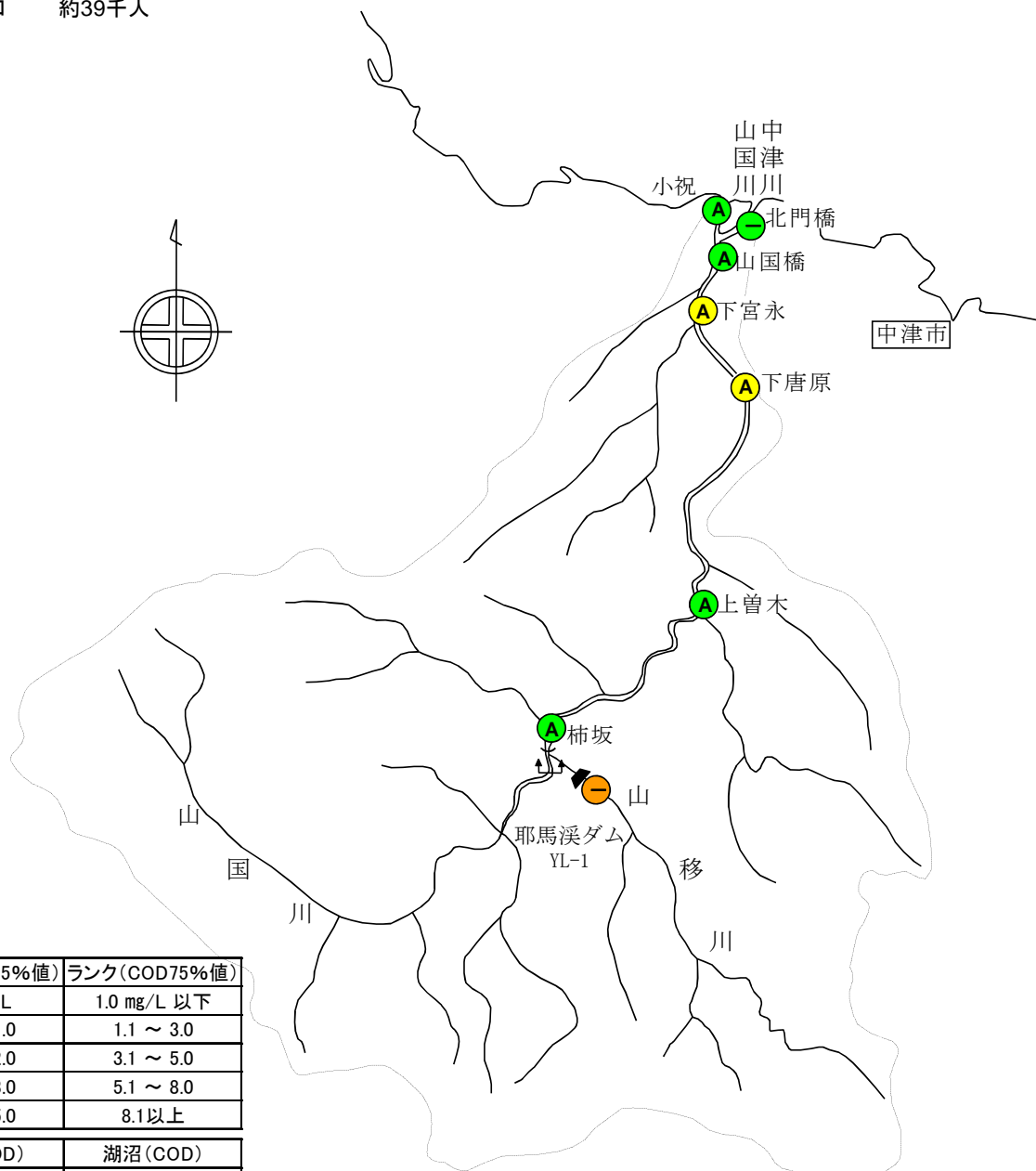
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川 (BOD)	湖沼 (COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

山 国 川

流域面積 540km²
 幹線流路延長 56km
 流域内人口 約39千人



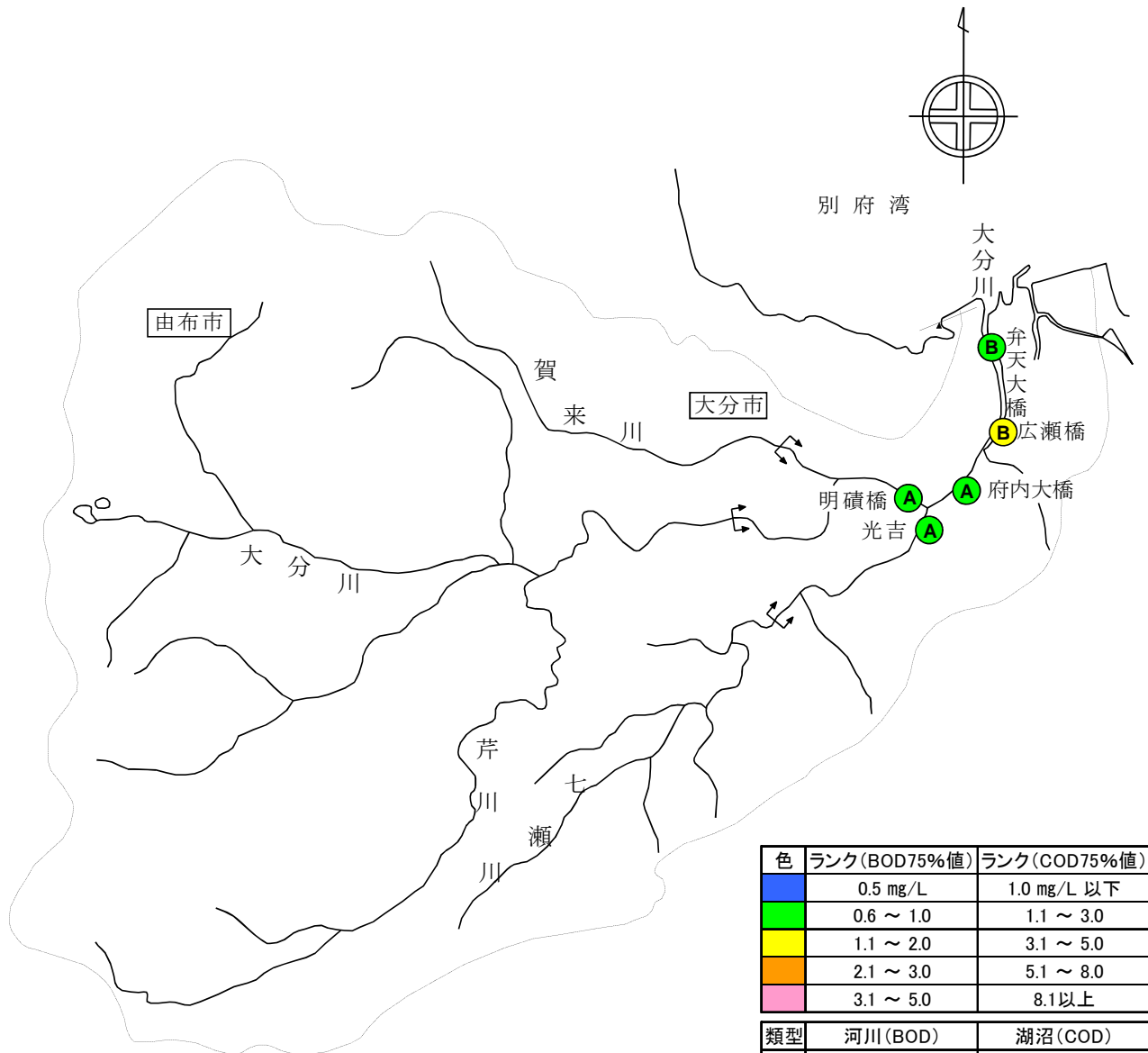
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川 (BOD)	湖沼 (COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

大分川

流域面積 650km²
 幹線流路延長 55km
 流域内人口 約250千人



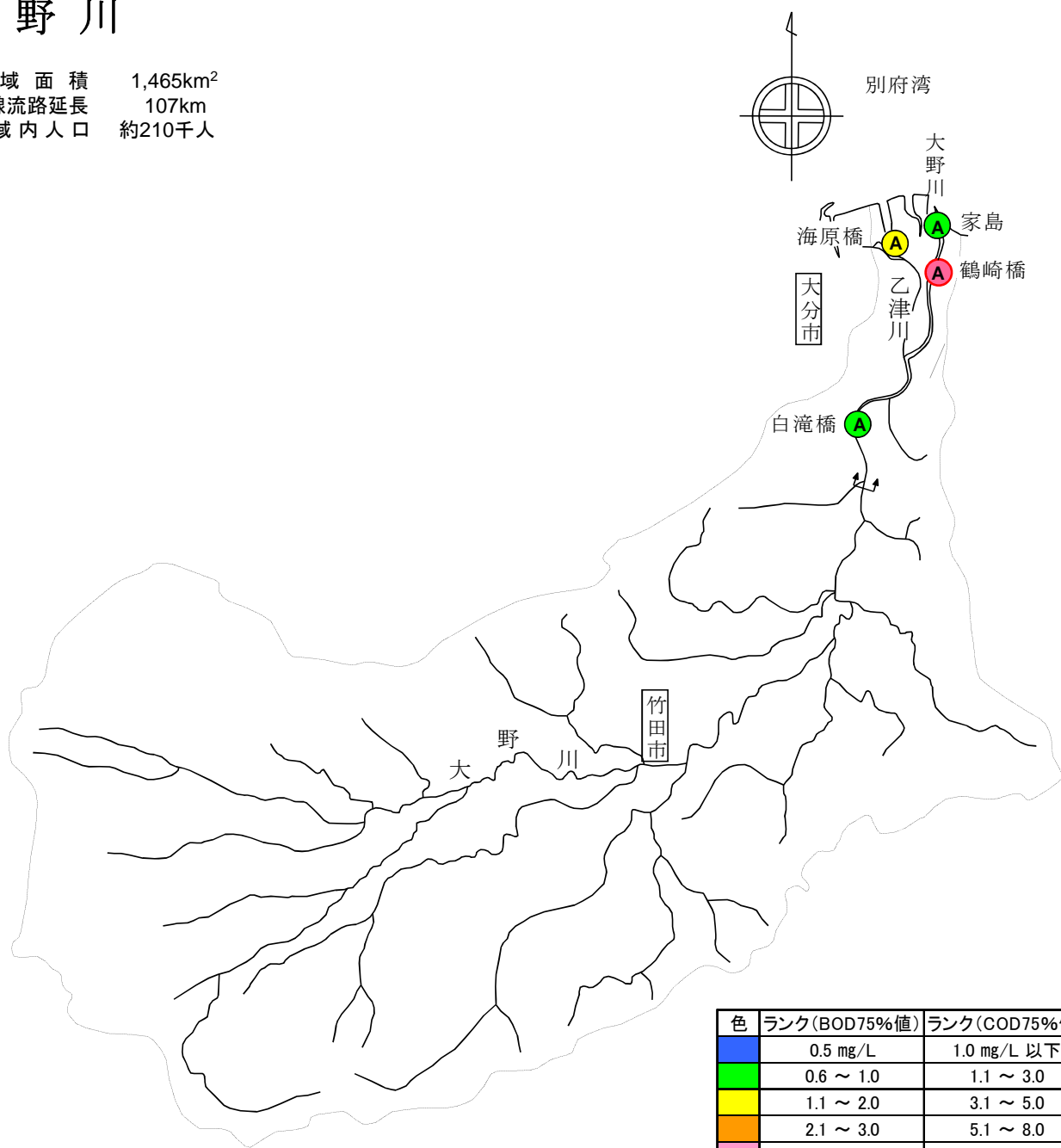
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

大野川

流域面積 1,465km²
 幹線流路延長 107km
 流域内人口 約210千人



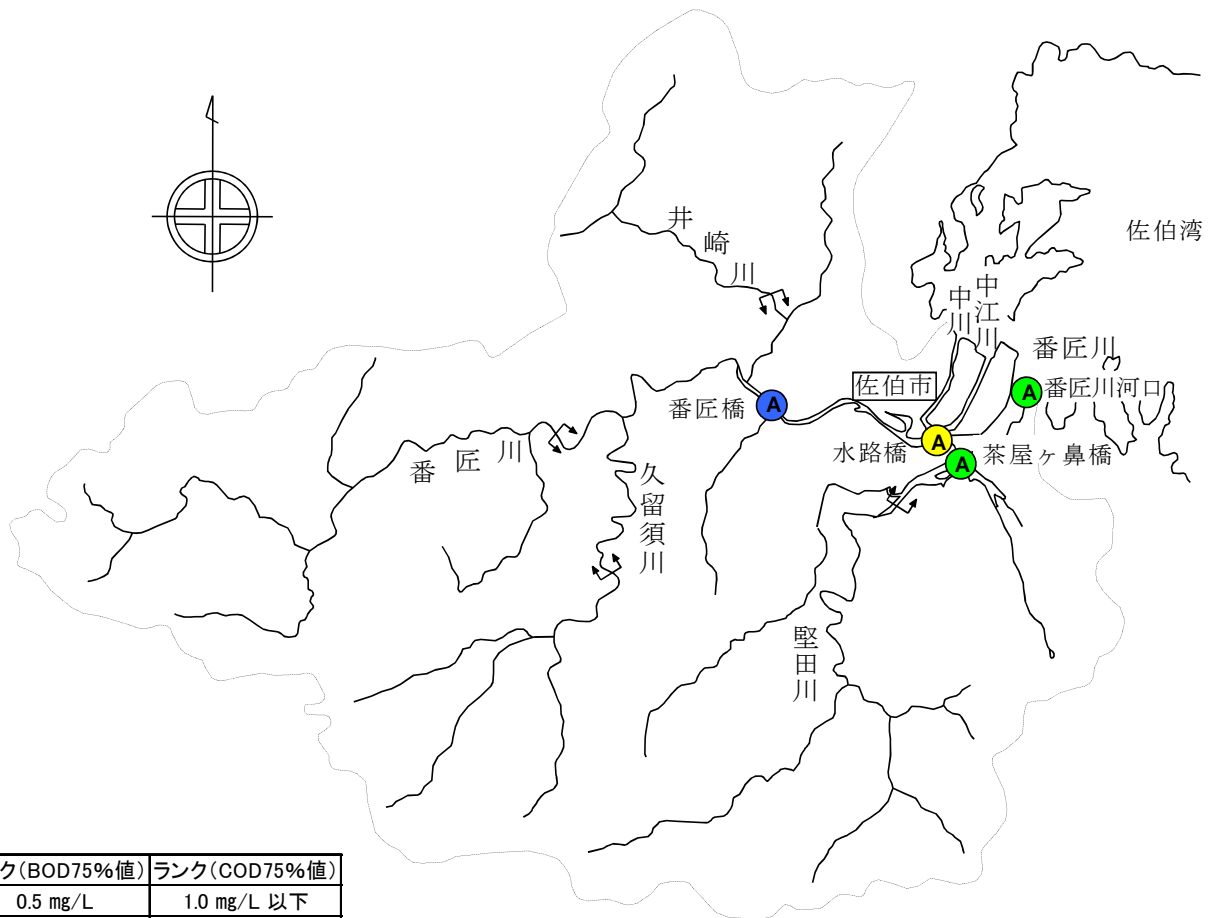
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

番匠川

流域面積 464km²
 幹線流路延長 38km
 流域内人口 約57千人



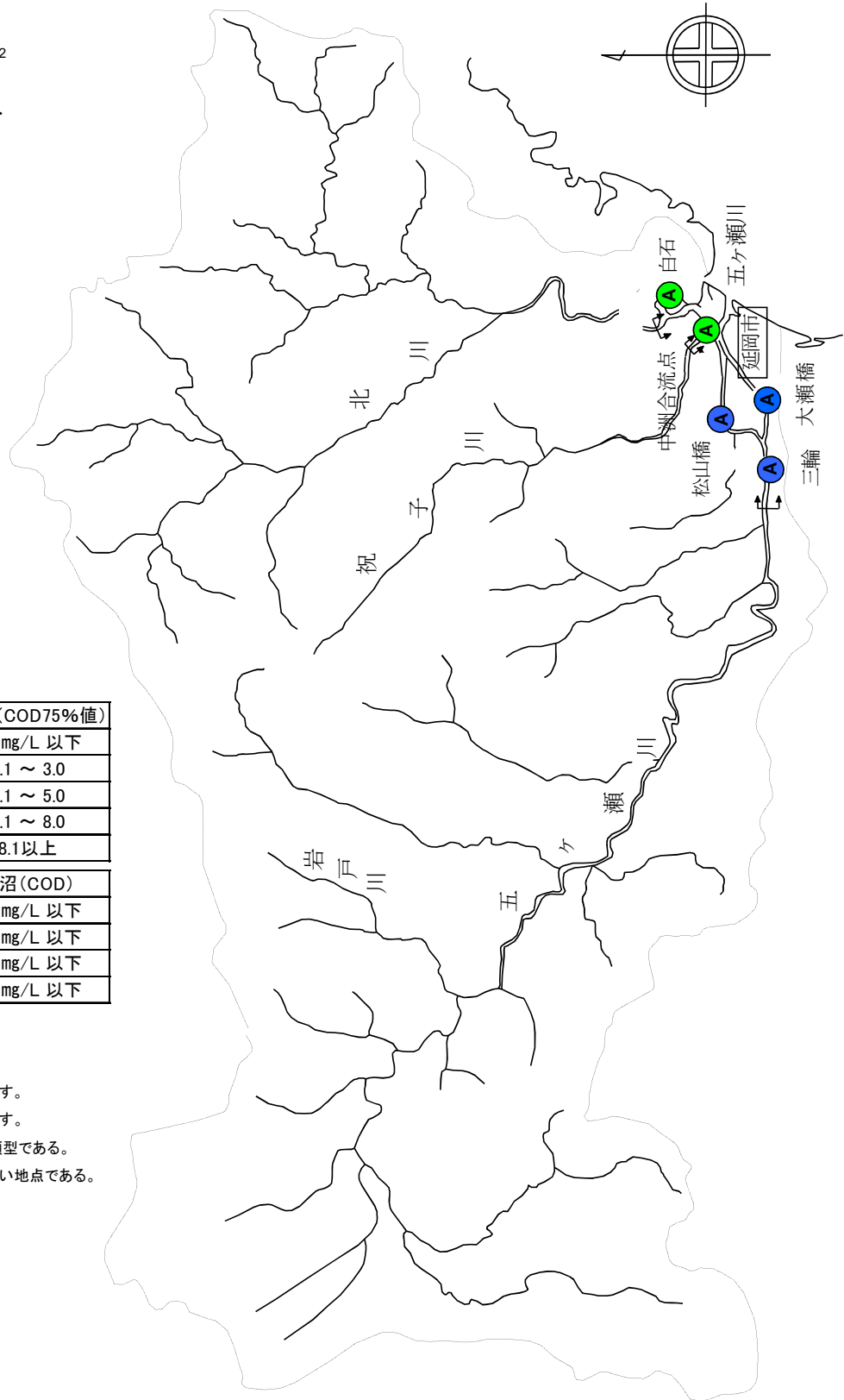
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
■	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
■	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
■	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
■	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
■	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

五ヶ瀬川

流域面積 1,820km²
 幹線流路延長 106km
 流域内人口 約128千人



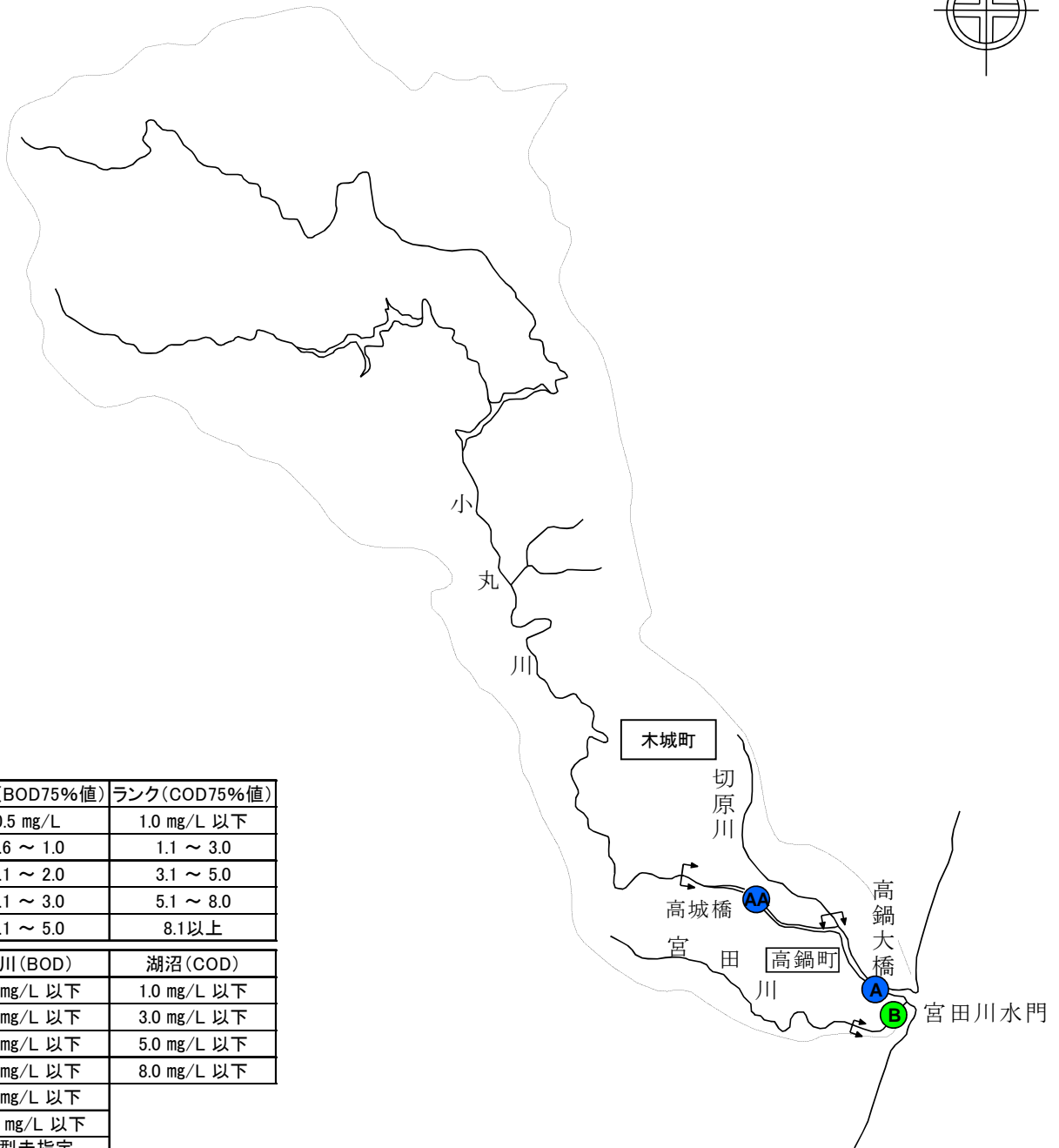
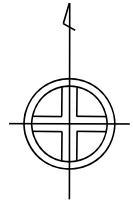
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

小丸川

流域面積 474km²
 幹線流路延長 75km
 流域内人口 約31千人



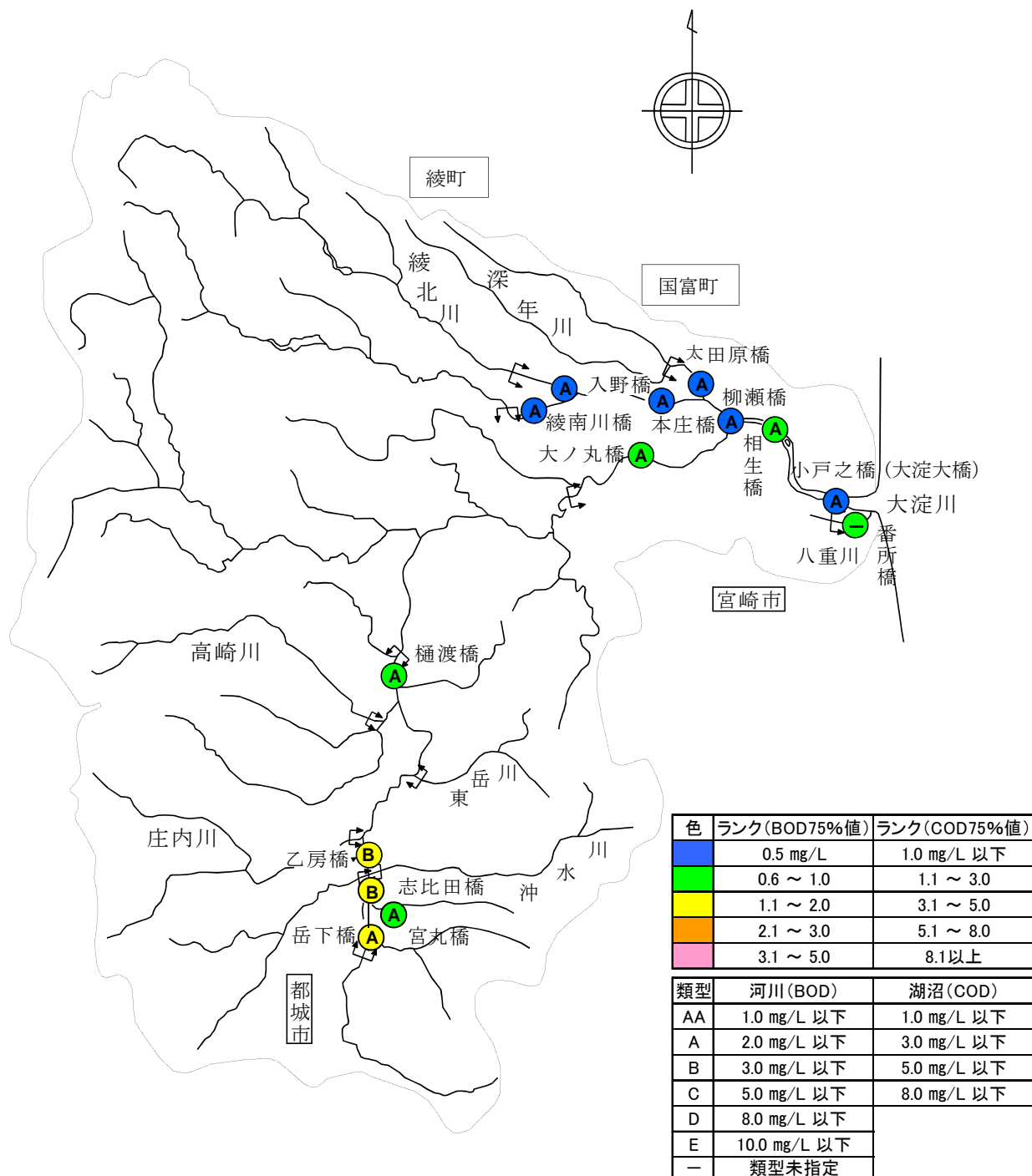
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川 (BOD)	湖沼 (COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

大淀川

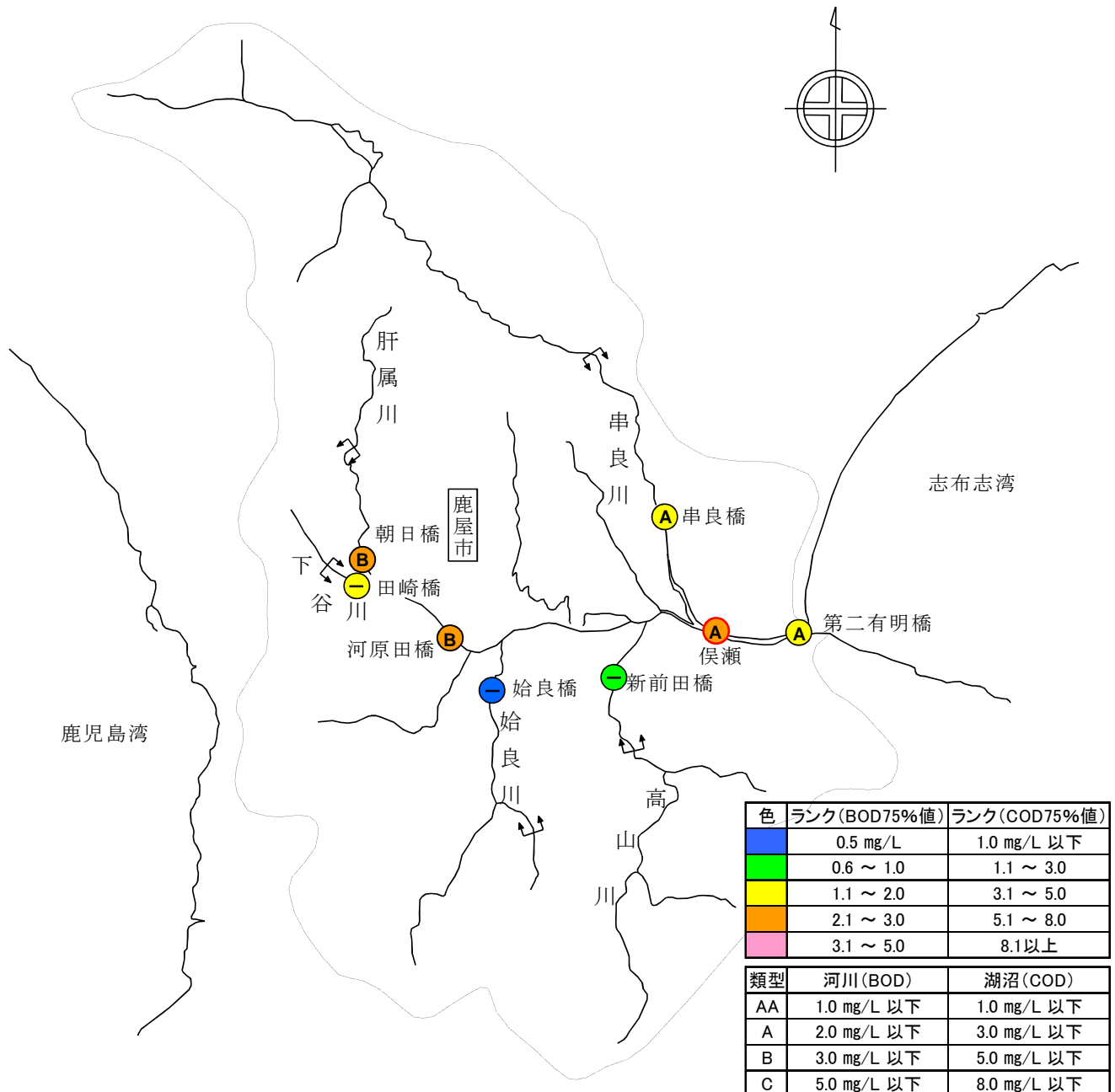
流域面積 2,230km²
 幹線流路延長 107km
 流域内人口 約600千人



- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

肝属川

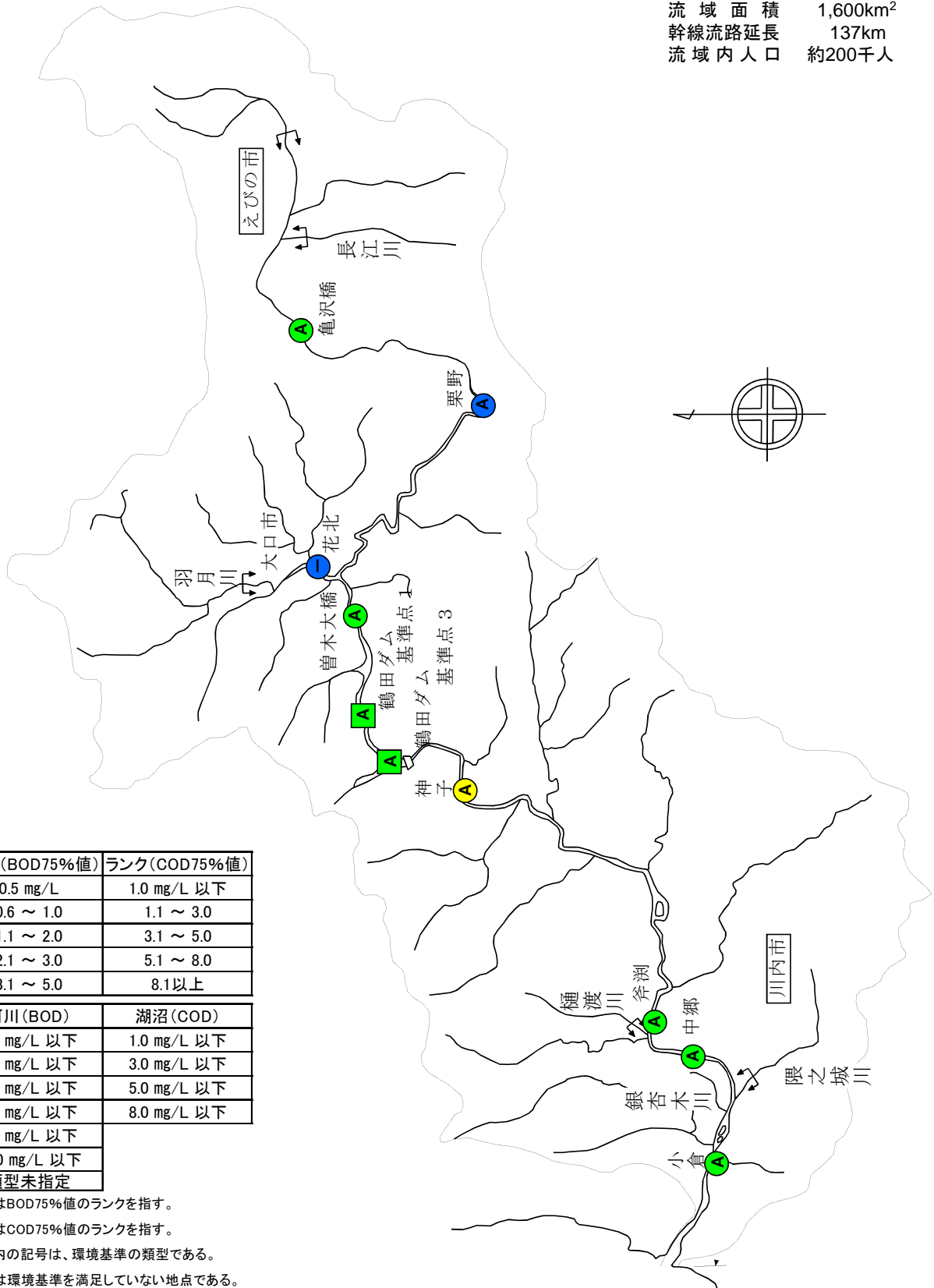
流域面積 485km²
 幹線流路延長 34km
 流域内人口 約115千人



- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

川内川

流域面積 1,600km²
 幹線流路延長 137km
 流域内人口 約200千人



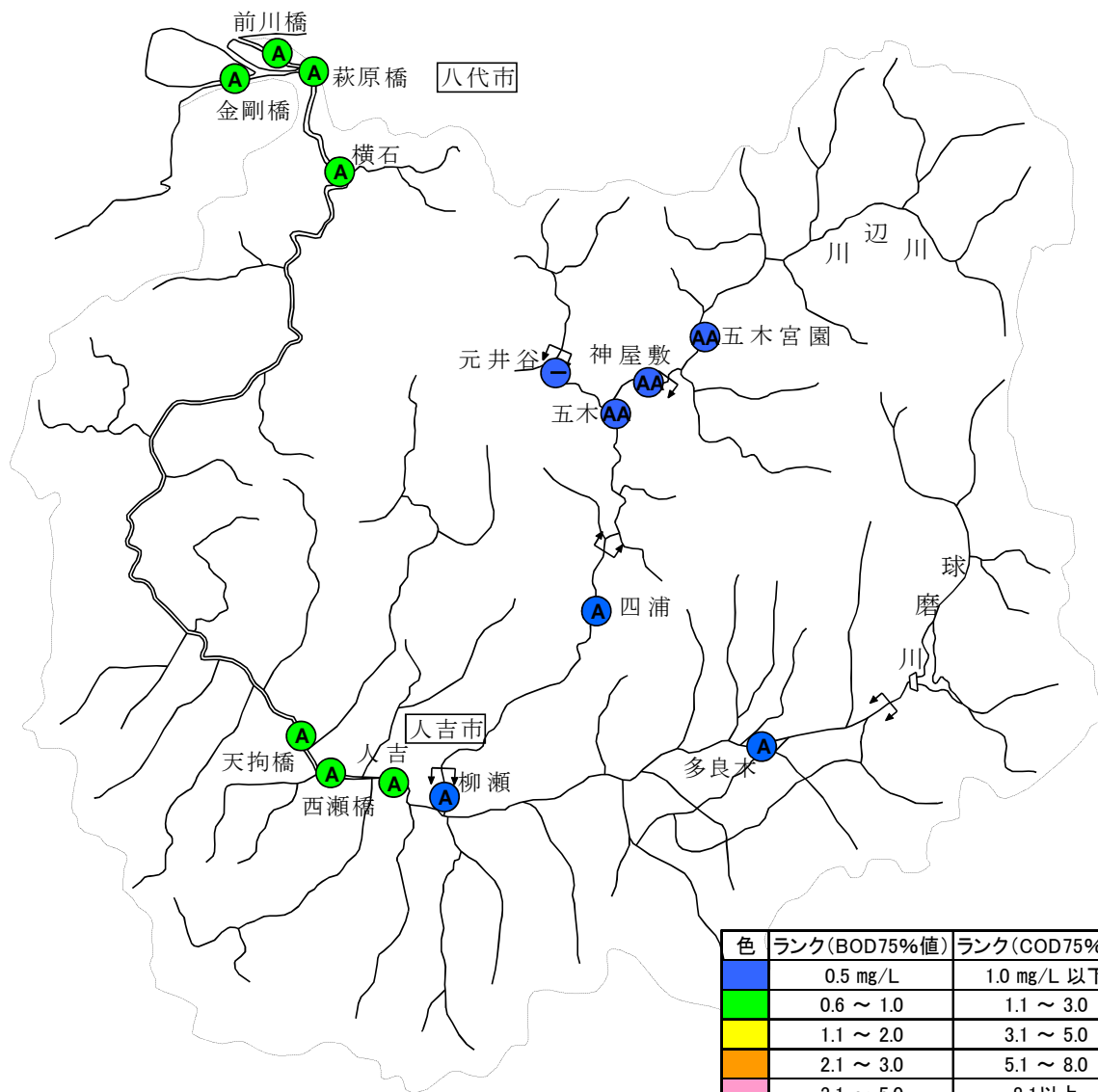
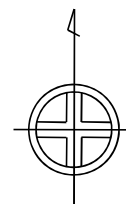
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
■	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
■	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
■	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
■	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
■	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

球磨川

流域面積 1,880km²
 幹線流路延長 115km
 流域内人口 約140千人



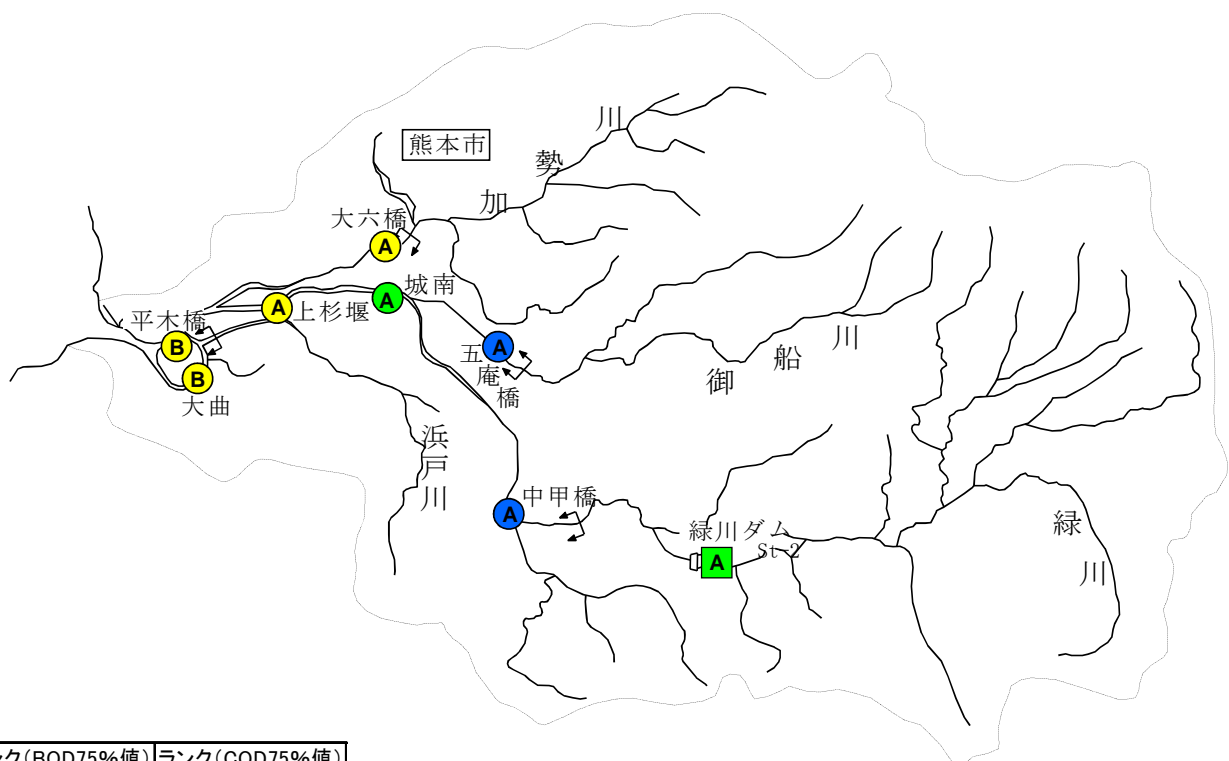
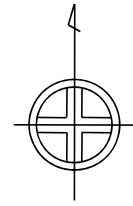
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

緑川

流域面積 1,100km²
 幹線流路延長 76km
 流域内人口 約520千人



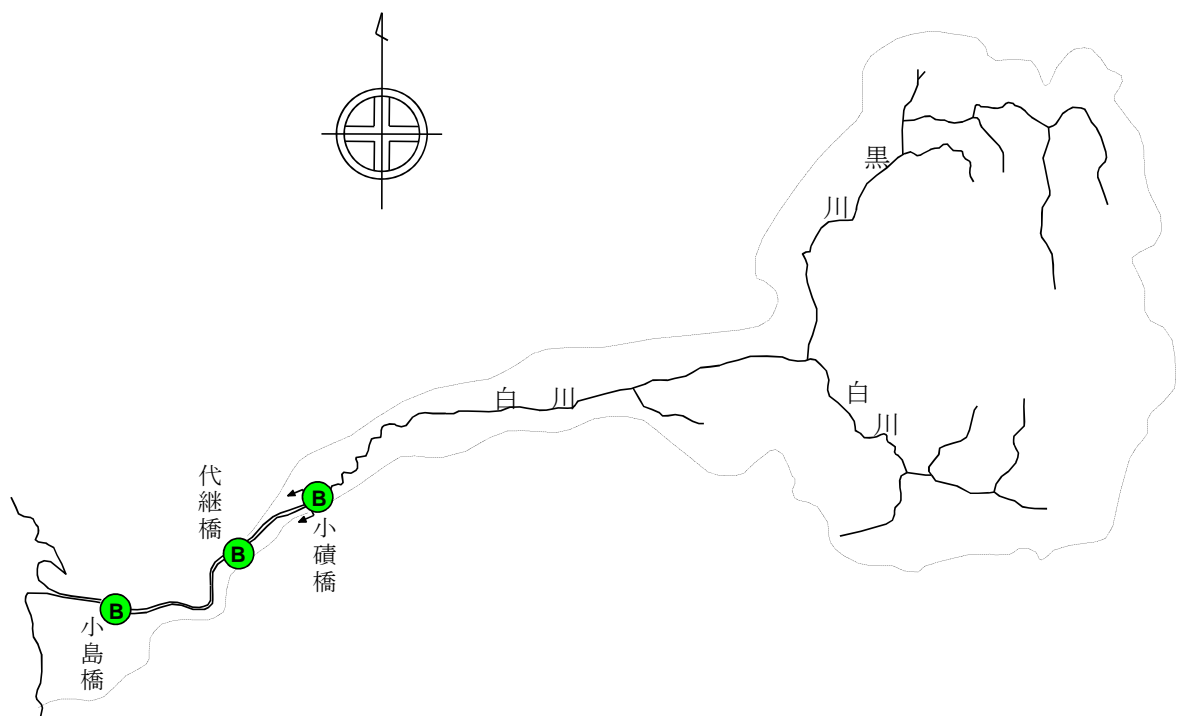
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川 (BOD)	湖沼 (COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

白川

流域面積 480km²
 幹線流路延長 74km
 流域内人口 約130千人



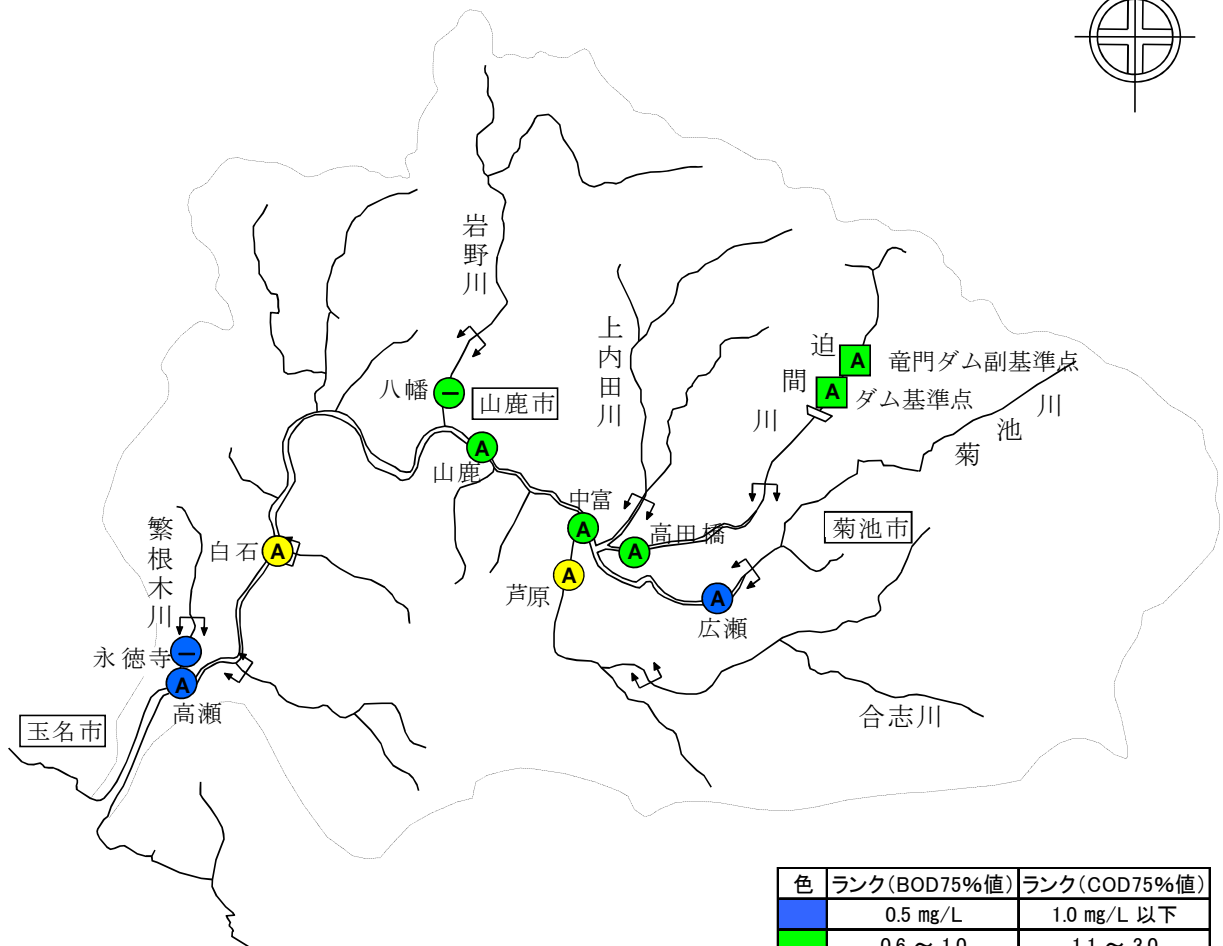
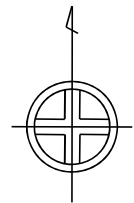
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

1. ○内の色はBOD75%値のランクを指す。
2. □内の色はCOD75%値のランクを指す。
3. ○及び□内の記号は、環境基準の類型である。
3. ○及び□は環境基準を満足していない地点である。

菊池川

流域面積 996km²
 幹線流路延長 71km
 流域内人口 約210千人



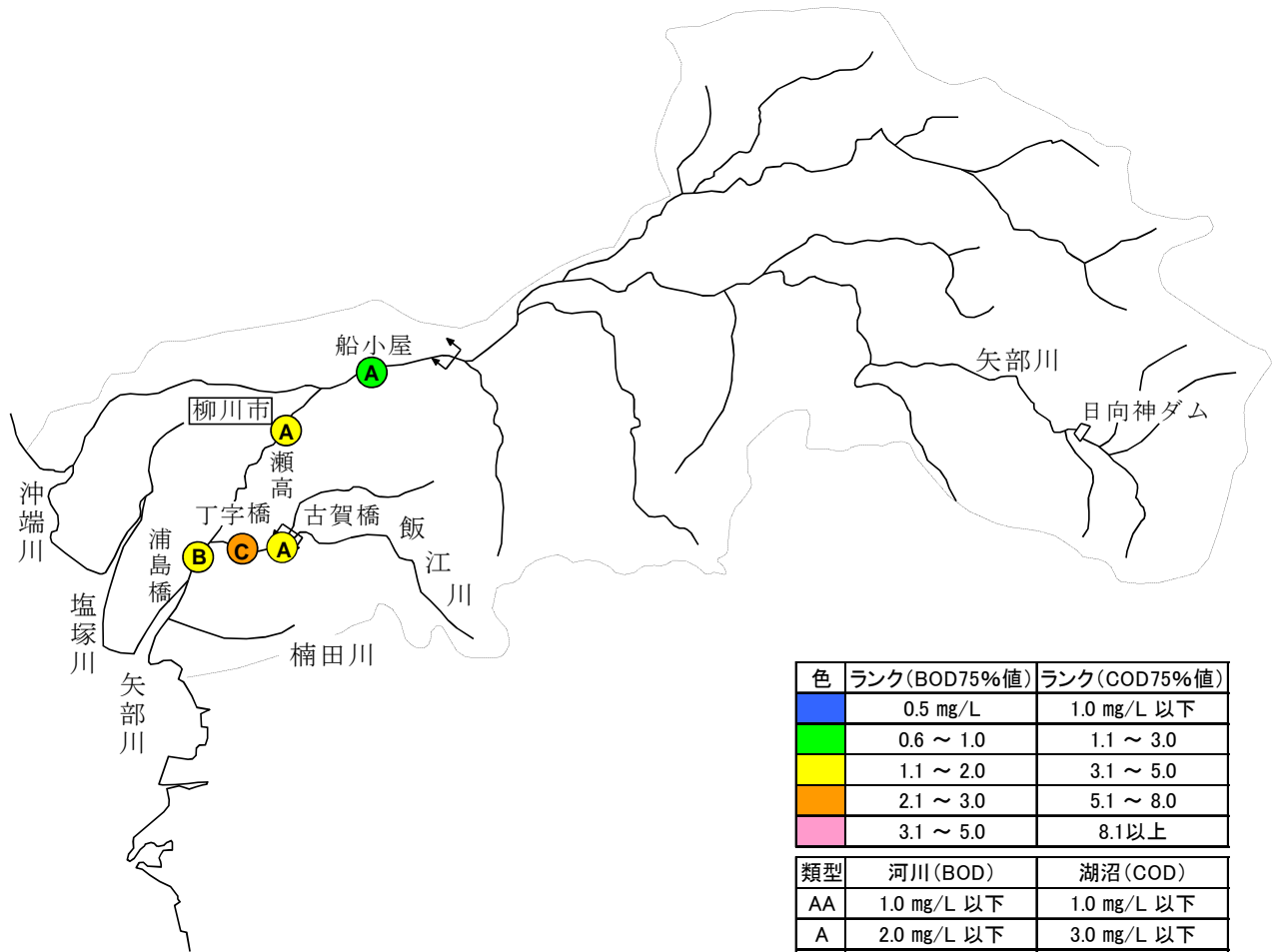
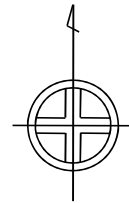
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
-	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

矢部川

流域面積 647km²
 幹線流路延長 61km
 流域内人口 約180千人

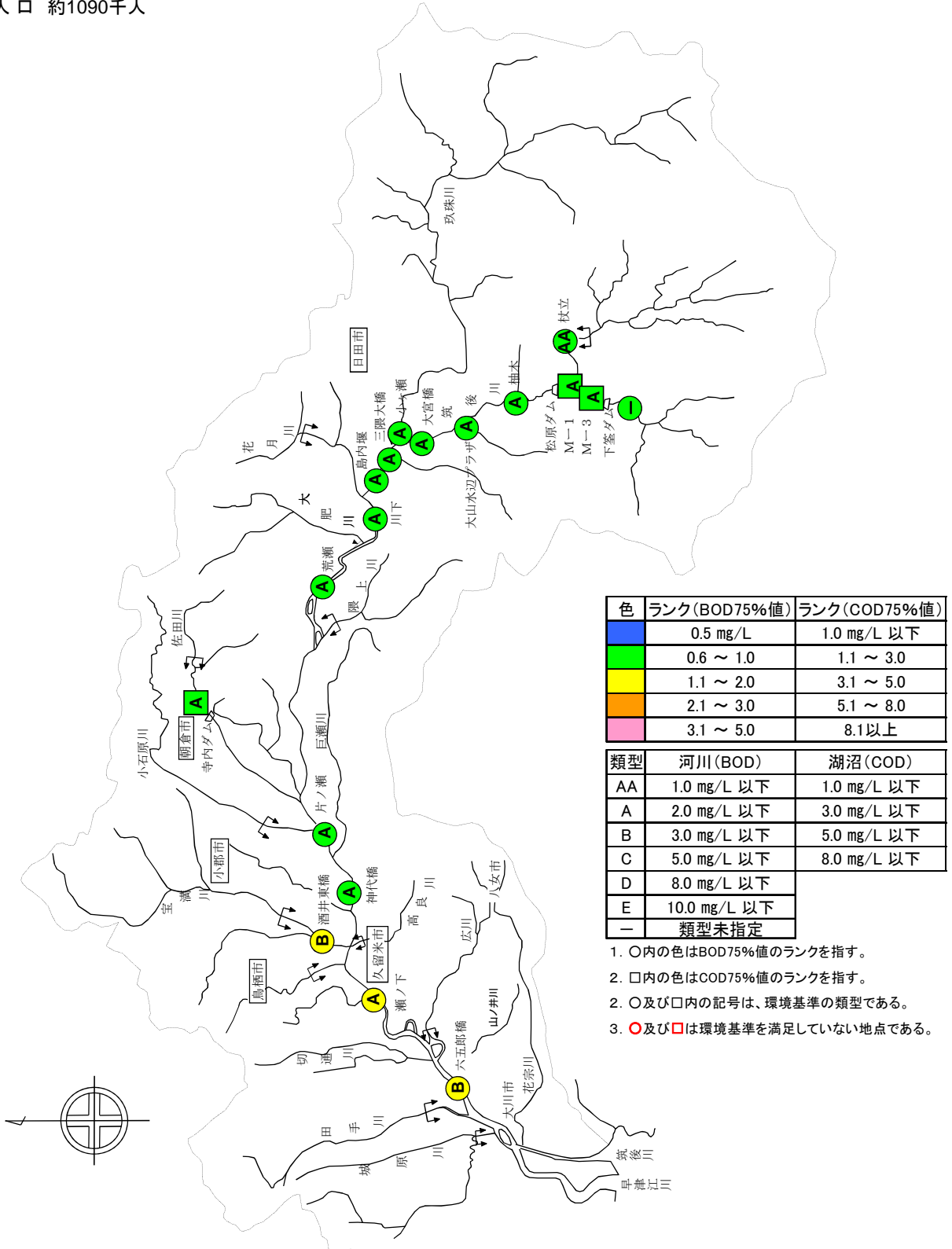


色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
■	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
●	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
●	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
●	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
●	3.1 ~ 5.0	8.1以上
類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び■は環境基準を満足していない地点である。

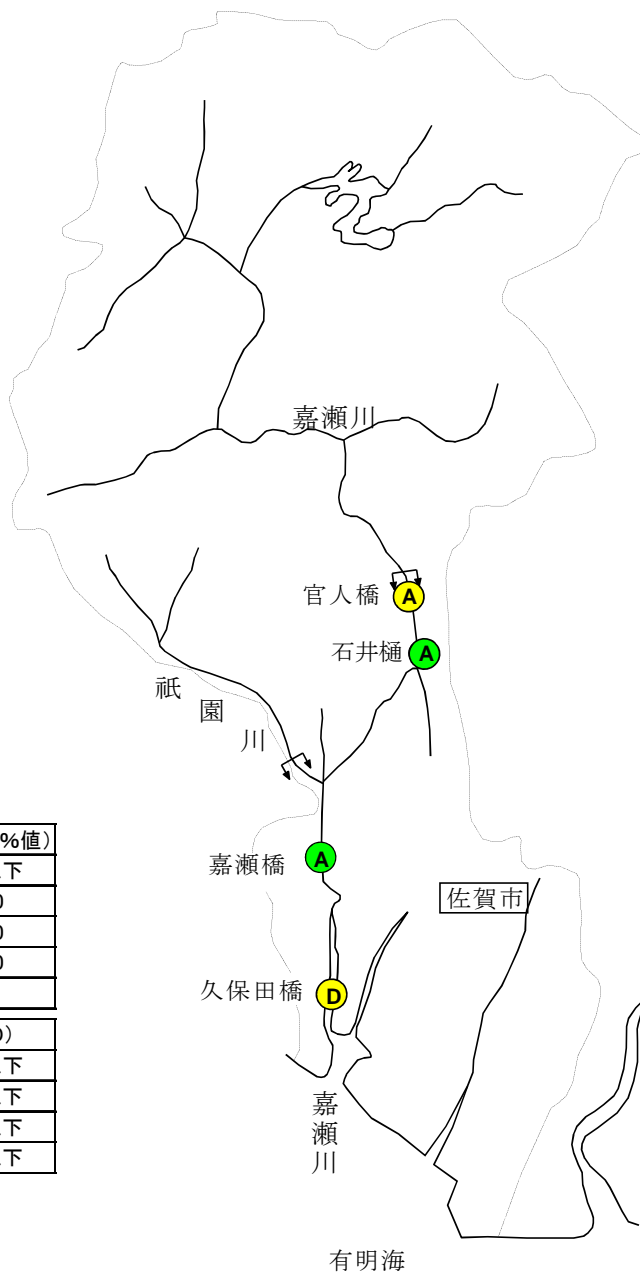
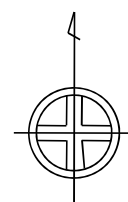
筑後川

流域面積 2,860km²
 幹線流路延長 143km
 流域内人口 約1090千人



嘉瀬川

流域面積 368km²
 幹線流路延長 57km
 流域内人口 約130千人



色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

1. ○内の色はBOD75%値のランクを指す。
2. □内の色はCOD75%値のランクを指す。
3. ○及び□内の記号は、環境基準の類型である。
4. ○及び□は環境基準を満足していない地点である。

六角川

流域面積 341km²
 幹線流路延長 47km
 流域内人口 約150千人



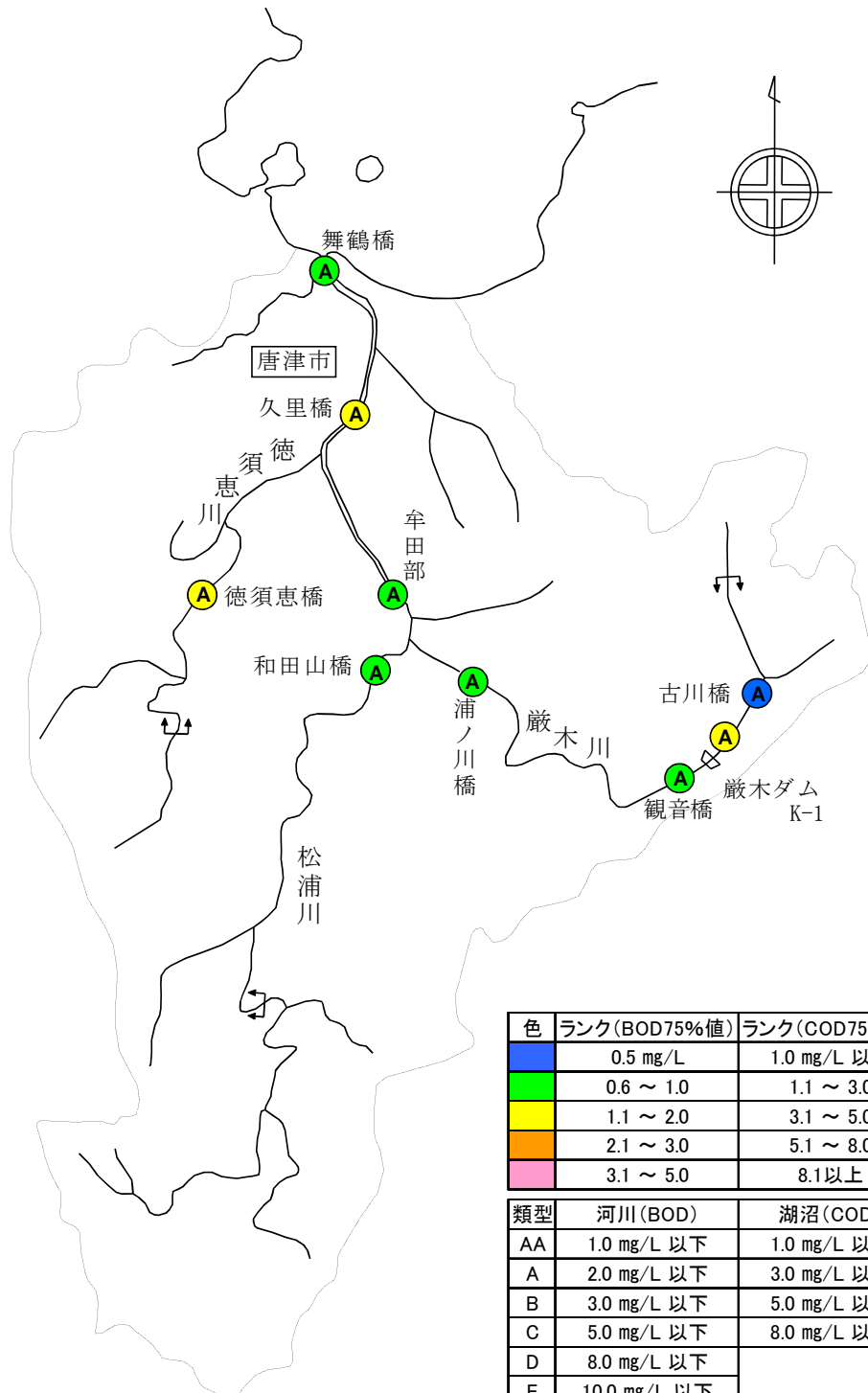
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
Blue	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
Green	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
Yellow	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
Orange	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
Pink	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

松浦川

流域面積 446km²
 幹線流路延長 47km
 流域内人口 約100千人



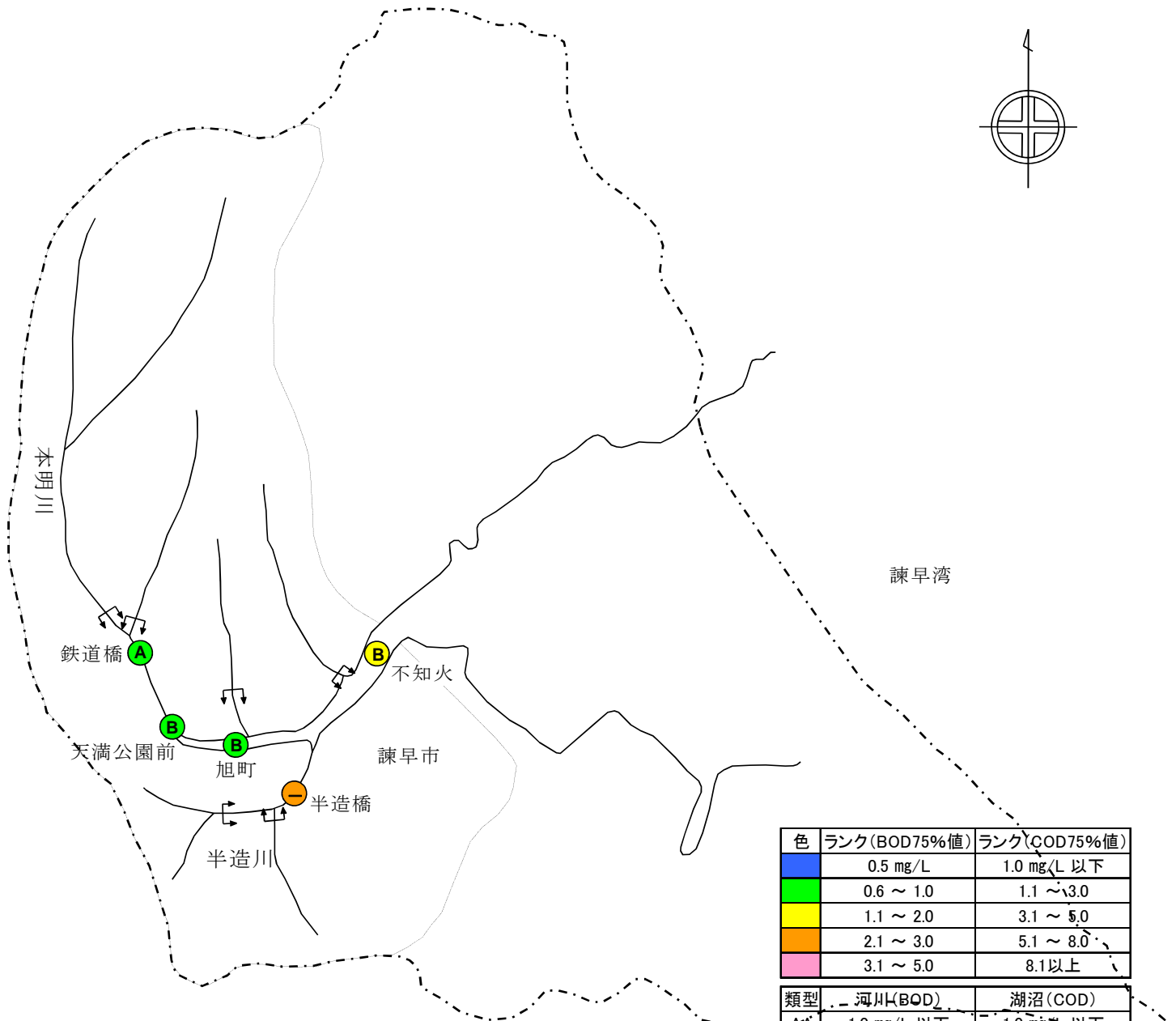
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
■	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
■	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
■	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
■	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
■	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

本明川

流域面積 249km²
 幹線流路延長 28km
 流域内人口 約89千人



色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

3. 平成26年 新しい水質指標による調査結果

人と河川の豊かなふれあいの確保

水系名	河川名	調査地点名	調査日	参加人数	団体等名称	糞便性大腸菌群数		ゴミの量	透視度		川底の感触	水のおいしさ	調査回数ごとの地点評価	地点の年間評価	調査回数ごとの星地点評価	星年間評価	
						測定値(個/100ml)	評価		測定値(cm)	評価							
遠賀川	遠賀川	溝堀	H26.02.13	2	直営	380	B	B	90	B	B	A	B	B	☆	☆	
			H26.05.23	2		52	A	D	71	B	C	C	D		☆		
			H26.08.28	2		69	A	B	86	B	B	A	B		☆☆		
			H26.11.13	2		30	A	B	100	A	B	A	B		☆☆☆		
	笹尾川	笹尾川水辺の楽校	直営	H26.02.13	2	220	B	B	82	B	B	A	B	B	☆	☆	
				H26.05.23	2	410	B	B	58	C	C	C	C		無し		
				H26.08.28	2	130	B	B	76	B	B	A	B		☆		
				H26.11.13	2	50	A	B	83	B	B	A	B		☆☆		
山国川	山国川	直営	柿坂	H26.12.08	6	67	A	B	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆	
			城井橋	H26.12.08	6	56	A	B	95	B	B	A	B	B	☆☆	☆☆	
			上曾木	H26.12.08	6	72	A	B	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆	
			下唐原	H26.12.08	6	84	A	B	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆	
			下宮永	H26.08.25	27	NAKATSUキッズサイエンス	-	-	B	>100	A	B	A	B	B	☆☆	☆☆
大分川	大分川	府内大橋	H26.09.04	17	大分工業高校	290	B	A	90	B	A	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆	
			H26.11.13	17		76	A	A	>100	A	B	A	B		☆☆☆☆		
大野川	乙津川	水辺の楽校	H26.09.05	182	別保小学校	210	B	A	>100	A	B	C	C	C	☆☆	☆☆	
	大野川	白滝橋	大分工業高校	H26.09.04	17	50	A	A	72	B	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆	
H26.11.13				17	22	A	A	>100	A	B	A	B	☆☆☆☆				
番匠川	番匠川	池船スポーツ公園	弥生児童館	H26.08.18	8	40	A	B	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆	
				H26.10.11	10	40	A	A	>100	A	B	A	B		☆☆☆☆		
		上岡	弥生児童館	H26.08.18	8	64	A	A	>100	A	A	A	A	C	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
				H26.10.11	10	47	A	A	>100	A	C	A	C		☆☆☆☆		
		番匠公園	弥生児童館	H26.08.18	8	60	A	A	>100	A	A	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
				H26.10.11	10	56	A	A	>100	A	A	A	A		☆☆☆☆		
		笠掛水辺の楽校	弥生児童館	H26.08.18	8	50	A	A	>100	A	A	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
				H26.10.11	10	48	A	A	>100	A	A	A	A		☆☆☆☆		
		森下橋	弥生児童館	H26.08.18	8	51	A	A	>100	A	A	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
				H26.10.11	10	46	A	A	>100	A	A	A	A		☆☆☆☆		
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	H26.08.31	17	九州保健福祉大学	74	A	A	81	B	A	A	B	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	大瀬川	大瀬橋	H26.09.17	69	延岡小学校	7	A	B	112.5	A	A	A	B	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	小川	永代橋	H26.09.13	11	ひかり児童館	14	A	C	125	A	A	A	C	C	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	祝子川	桑平橋	H26.08.19	13	ゆりかご児童館	38	A	A	125	A	A	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
小丸川	小丸川	竹鳩橋	H26.07.23	54	高鍋自然愛好会	210	B	A	50	C	A	A	C	C	☆☆☆	☆☆☆	
		高城橋	H26.09.03	60	木城小学校	57	A	A	40	C	A	A	C	C	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
大淀川	大淀川	浦之名川合流点	H26.09.29	5	直営	450	B	A	>100	A	A	A	B	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	本庄川	本庄橋	H26.08.12	22	大淀川学習館	190	B	-	>100	A	-	-	B	B	☆	☆	
肝属川	肝属川	鹿屋小学校前	大隅自然環境フォーラム	H26.02.03	6	2300	C	C	36	C	C	C	C	C	無し	無し	
				H26.05.12	6	15000	C	B	91	B	B	C	C		無し		
				H26.08.27	4	8200	C	B	78	B	B	A	C		☆		
				H26.11.10	4	8800	C	B	61	C	C	D	D		無し		
	高山川	大脳床止	こうやま川の少年団	肝付町役場	H26.02.26	6	450	B	A	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆☆
					H26.05.30	4	22	A	A	>100	A	A	A	A		☆☆☆☆	
					H26.09.03	4	210	B	A	>100	A	A	A	B		☆☆☆☆	
					H26.12.10	4	98	A	A	>100	A	A	A	A		☆☆☆☆	
	始良川	鶴峰橋	始良川河川愛護会	直営	H26.02.05	9	120	B	A	>100	A	A	A	B	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆
					H26.05.14	6	150	B	A	>100	A	A	A	B		☆☆☆☆	
H26.09.03					4	290	B	A	>100	A	A	A	B	☆☆☆☆			
H26.12.03					6	240	B	A	>100	A	A	A	B	☆☆☆☆			
川内川	針持川	新古川橋	H26.07.20	40	曾木校区コミュニティ協議会	130	B	A	>100	A	A	A	B	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	川内川	麓橋付近	H26.08.28	69	えびの市立飯野小学校	320	B	A	>100	A	A	A	B	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
		長崎堤防上流	H26.09.26	16	薩摩川内市立高江中学校・峰山小学校	520	B	B	76	B	B	A	B	B	☆	☆	

人と河川の豊かなふれあいの確保（続き）

水系名	河川名	調査地点名	調査日	参加人数	団体等名称	糞便性大腸菌群数		ゴミの量	透視度		川底の感触	水のおい	調査回ごとの地点評価	地点の年間評価	調査回ごとの星地点評価	星年間評価
						測定値(個/100ml)	評価		測定値(cm)	評価						
球磨川	川辺川	構造改善センター横	H26.09.11	87	相良南小学校 宮地小学校	46	A	A	>100	A	A	A	A	A	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
	球磨川	中川原公園	H26.07.28	39	人吉第一中学校	320	B	A	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆
		球磨大橋上流	H26.08.26	5	直営	660	B	A	-	-	B	A	B	B	☆☆	☆☆
	芋川	吐合橋	H26.07.17	31	一勝地小学校	54	A	A	>100	A	A	A	A	A	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
	油谷川	油谷川合流前	H26.09.09	27	八竜小学校	98	A	A	>100	A	A	A	A	A	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
	山田川	五十鈴橋	H26.10.03	102	人吉東小学校	240	B	A	>100	A	A	A	B	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆
緑川	緑川	中甲橋	H26.07.23	17	一般公募	100	A	A	98	B	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆
		津志田	H26.07.23	17	一般公募	130	B	A	90	B	B	A	B	B	☆☆	☆☆
白川	白川	代継橋	H26.07.23	17	一般公募	2200	C	D	90	B	C	C	D	D	無し	無し
		子飼橋	H26.07.23	17	一般公募	350	B	A	90	B	B	A	B	B	☆☆	☆☆
矢部川	矢部川	船小屋	H26.09.12	53	みやま市立下庄小学校	2400	C	B	>100	A	B	A	C	C	☆☆	☆☆
筑後川	筑後川	大山水辺プラザ	H26.08.17	51	大山水環境アスリート	280	B	A	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆
		台霧の瀬	H26.10.21	12	日田市民環境会議「水と森部会」	120	B	A	>100	A	B	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆
六角川	牛津川	妙見橋	H26.09.11	58	西溪小学校	2000	C	A	100	A	B	A	C	C	☆☆☆	☆☆☆
	武雄川	武雄川	H26.08.25	7	直営	1400	C	B	100	A	B	C	C	C	☆	☆
	六角川	溝ノ上	H26.07.01	60	福富小学校	72	A	A	100	A	B	A	B	C	☆☆☆☆	☆☆☆
H26.08.28			28	橋小学校	1800	C	A	100	A	B	A	C	☆☆☆			
松浦川	松浦川	桃川親水公園	H26.09.25	24	武内小学校	230	B	B	93	B	B	A	B	B	☆	☆
		大黒堰	H26.09.01	49	大川小学校	860	B	A	58	C	B	C	C	C	☆	☆
	巖木川	巖木コミュニティセンター	H26.09.30	30	巖木小学校	820	B	B	>100	A	B	A	B	B	☆☆	☆☆
		中山	H26.07.24	33	浜崎小学校虹の松原分校	850	B	A	>100	A	B	C	C	C	☆☆	☆☆
		町切堰	H26.09.12	21	菴木小学校	380	B	A	92	B	A	A	B	B	☆☆☆	☆☆☆
本明川	本明川	裏山橋	H26.07.01	35	諫早小学校	4100	C	A	-	-	B	C	C	C	☆	☆
		四面橋	H26.07.01	35	諫早小学校	4100	C	A	-	-	B	C	C	C	☆	☆
		公園橋	H26.09.11	55	上山小学校	6400	C	B	95	B	B	A	C	C	☆	☆
			H26.07.01	35	諫早小学校	4100	C	A	-	-	B	C	C		☆	

調査回ごとの地点評価：評価項目のうち最も低く判定されたランクとする。（P12～13参照）

地点の年間評価：「人と河川の豊かなふれあいの確保」については、地点評価の最頻ランクとする。

：「豊かな生態系」については、地点評価の最低ランクとする。

調査回ごとの星地点評価：各項目Aランクの評価を得た地点数を☆の数で表し、地点の評価を行うものとする。

星年間評価：星地点評価ができた地点の最頻ランクとする。

豊かな生態系の確保

水系名	河川名	調査地点名	調査日	参加人数	団体等名称	DO		NH ₄ -N		水生生物の生息		調査回ごとの地点評価	地点の年間評価	調査回ごとの星地点評価	星年間評価		
						測定値 (mg/L)	評価	測定値 (mg/L)	評価	測定値	評価						
遠賀川	遠賀川	溝堀	H26.02.13	2	直営	11	A	0.16	A	Ⅱ	B	B	D	☆☆	☆☆		
			H26.05.23	2		9.7	A	0.09	A	Ⅳ	D	D		☆☆			
			H26.08.28	2		7.5	A	0.11	A	Ⅲ	C	C		☆☆			
			H26.11.13	2		10	A	0.04	A	Ⅲ	C	C		☆☆			
	笹尾川	笹尾川水辺の楽校	H26.02.13	2	直営	12	A	0.19	A	Ⅲ	C	C	C	☆☆	☆☆		
			H26.09.04	2		8.4	A	0.12	A	Ⅲ	C	C		☆☆			
			H26.08.28	2		7.8	A	0.13	A	Ⅲ	C	C		☆☆			
			H26.11.13	2		10	A	0.09	A	Ⅲ	C	C		☆☆			
山国川	山国川	柿坂	H26.12.08	6	直営	13.3	A	0.01	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
		城井橋	H26.12.08	6	直営	12.7	A	0.01	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
		上曾木	H26.12.08	6	直営	12.5	A	0.01	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
		下唐原	H26.12.08	6	直営	12.9	A	0.01	A	Ⅱ	B	B	B	☆☆	☆☆		
		下宮永	H26.08.25	27	NAKATSUキッズサイエンス	8.2	A	0.04	A	Ⅱ	B	B	B	☆☆	☆☆		
大分川	大分川	府内大橋	H26.09.04	17	大分工業高校	8.9	A	<0.01	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
			H26.11.13	17		9.5	A	0.01	A	Ⅰ	A	A		☆☆☆			
大野川	乙津川	水辺の楽校	H26.09.05	182	別保小学校	8	A	0.07	A	Ⅱ	B	B	B	☆☆	☆☆		
	大野川	白滝橋	H26.09.04	17	大分工業高校	8.1	A	<0.01	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
H26.11.13			17	9.8		A	<0.01	A	Ⅰ	A	A	☆☆☆					
番匠川	番匠川	池船スポーツ公園	H26.02.13	3	直営	10.6	A	0.07	A	-	-	A	B	☆☆	☆		
			H26.05.14	3		6.9	B	0.03	A	-	-	B		☆			
			H26.08.18	8		6.9	B	0.03	A	-	-	B		☆			
		H26.10.11	10	弥生児童館	7.2	A	0.14	A	-	-	A	☆☆					
		H26.02.13	3	直営	10.8	A	<0.05	A	-	-	A	A		☆☆		☆☆	
		H26.05.14	3		9	A	0.01	A	-	-	A			☆☆			
	H26.08.18	8	8.5		A	<0.01	A	-	-	A	☆☆						
	H26.10.11	10	弥生児童館	8.6	A	0.04	A	-	-	A	☆☆						
	H26.02.13	3	直営	9.7	A	<0.05	A	-	-	A	A		☆☆	☆☆			
	H26.05.14	3		8.6	A	0.02	A	-	-	A			☆☆				
	H26.08.18	8		8.2	A	<0.01	A	-	-	A		☆☆					
	H26.10.11	10	弥生児童館	7.3	A	0.02	A	-	-	A		☆☆					
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	H26.08.31	17	九州保健福祉大学	9.1	A	<0.05	A	Ⅰ		A	A		A	☆☆☆	☆☆☆
			大瀬川	大瀬橋	H26.09.17	69	延岡小学校	8.1	A	<0.05		A	Ⅰ		A	A	A
			小川	永代橋	H26.09.13	11	ひかり児童館	8.7	A	<0.05	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆
			祝子川	桑平橋	H26.08.19	13	ゆりかご児童館	8.7	A	<0.05	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆
	友内川	リバーパル	直営	H26.02.14	2	直営	10	A	<0.05	A	-	-	A	B	☆☆	☆☆	
				H26.05.17	2		8	A	0.19	A	-	-	A		☆☆		
				H26.08.22	2		6.7	B	0.08	A	-	-	B		☆		
				H26.11.04	2		8.1	A	<0.05	A	-	-	A		☆☆		
小丸川	小丸川	竹鳩橋	H26.07.23	54	高鍋自然愛好会	8.7	A	0.02	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
		高城橋	H26.09.03	60	木城小学校	8.9	A	0.02	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
大淀川	大淀川	浦之名川合流点	H26.09.29	5	直営	9.3	A	0.02	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
	本庄川	本庄橋	H26.08.12	22	大淀川学習館	9.3	A	0.04	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
肝属川	肝属川	鹿屋小学校前	H26.02.03	6	大隅自然環境フォーラム	5.5	B	4	D	Ⅳ	D	D	D	無し	無し		
			H26.05.12	6		2.7	D	4.4	D	Ⅲ	C	D		無し			
			H26.08.27	4		7.6	A	0.45	B	Ⅲ	C	C		☆			
			H26.11.10	4		7.7	A	1.3	C	Ⅲ	C	C		☆			
	高山川	大脇床止	肝付町役場	H26.02.26	6	こうやま川の少年団	9.5	A	<0.1	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
				H26.05.30	4		8.7	A	<0.1	A	Ⅰ	A	A		☆☆☆		
				H26.09.03	4		8.1	A	<0.1	A	Ⅰ	A	A		☆☆☆		
				H26.12.10	4		10	A	<0.1	A	Ⅰ	A	A		☆☆☆		
	始良川	鶴峰橋	始良川河川愛護会	H26.02.05	9	始良川河川愛護会	10.1	A	<0.1	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
				H26.05.14	6		8.9	A	<0.1	A	Ⅰ	A	A		☆☆☆		
				H26.09.03	4		直営	8.4	A	<0.1	A	Ⅰ	A		A		☆☆☆
				H26.12.03	6		始良川河川愛護会	9.8	A	<0.1	A	Ⅰ	A		A		☆☆☆
川内川	川内川	新古川橋	H26.07.20	40	曾木校区コミュニティ協議会	9.3	A	<0.1	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
		麓橋付近	H26.08.28	69	えびの市立飯野小学校	9.5	A	0.1	A	Ⅰ	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆		
		長崎堤防上流	H26.09.26	16	薩摩川内市立高江中学校・峰山小学校	8.9	A	0.1	A	Ⅱ	B	B	B	☆☆	☆☆		

豊かな生態系の確保（続き）

水系名	河川名	調査地点名	調査日	参加人数	団体等名称	DO		NH ₄ -N		水生生物の生息		調査回ごとの地点評価	地点の年間評価	調査回ごとの星地点評価	星年間評価	
						測定値 (mg/l)	評価	測定値 (mg/l)	評価	測定値	評価					
球磨川	川辺川	構造改善センター横	H26.09.11	87	相良南小学校 宮地小学校	9.4	A	0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
		球磨川	中川原公園	H26.07.28	39	人吉第一中学校	10	A	0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆
		球磨大橋上流	H26.08.26	5	直営	9.9	A	0.03	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
		芋川	吐合橋	H26.07.17	31	一勝地小学校	9.4	A	<0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆
		油谷川	油谷川合流前	H26.09.09	27	八竜小学校	10	A	0.02	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆
	山田川	五十鈴橋	H26.10.03	102	人吉東小学校	9.4	A	0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
緑川	緑川	中甲橋	H26.07.23	17	一般公募	9.4	A	0.03	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
		津志田	H26.07.23	17	一般公募	9	A	0.03	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
白川	白川	代継橋	H26.07.23	17	一般公募	9	A	0.03	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
		子飼橋	H26.07.23	17	一般公募	11	A	0.03	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
矢部川	矢部川	船小屋	H26.09.12	53	みやま市立下庄小学校	9.2	A	0.02	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
筑後川	筑後川	大山水辺プラザ	H26.08.17	51	大山水環境アスリート	9.1	A	0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
		台霧の瀬	H26.10.21	12	日田市民環境会議「水と森部会」	10.0	A	0.01	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
六角川	牛津川	妙見橋	H26.09.11	58	西溪小学校	10.3	A	0.03	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
		武雄川	H26.08.25	7	直営	8.1	A	0.04	A	III	C	C	C	☆☆	☆☆	
	六角川	溝ノ上	H26.07.01	60	福富小学校	8.5	A	0.05	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
			H26.08.28	28	橋小学校	7.7	A	0.02	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
松浦川	松浦川	桃川親水公園	H26.09.25	24	武内小学校	9.3	A	0.22	B	II	B	B	B	☆	☆	
		大黒堰	H26.09.01	49	大川小学校	8.9	A	0.02	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
	厳木川	厳木コミュニティセンター	H26.09.30	30	厳木小学校	9.9	A	<0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
		中山	H26.07.24	33	浜崎小学校 虹の松原分校	10	A	<0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
		町切堰	H26.09.12	21	簗木小学校	9.6	A	<0.01	A	I	A	A	A	☆☆☆	☆☆☆	
本明川	本明川	裏山橋	H26.07.01	35	諫早小学校	7.9	A	-	-	I	A	A	A	☆☆	☆☆	
		鉄道橋	H26.05.30	140	北諫早小学校	10	A	0.01	A	II	B	B	B	☆☆	☆☆	
		四面橋	H26.07.01	35	諫早小学校	7.9	A	-	-	III	C	C	C	☆☆	☆☆	
		公園橋	H26.09.11	55	上山小学校	10	A	-	-	I	A	A	A	☆☆	☆☆	
			H26.07.01	35	諫早小学校	7.9	A	-	-	III	C	C	C	☆☆	☆☆	

調査回ごとの地点評価：評価項目のうち最も低く判定されたランクとする。（P12～13参照）

地点の年間評価：「人と河川の豊かなふれあいの確保」については、地点評価の最頻ランクとする。

：「豊かな生態系」については、地点評価の最低ランクとする。

調査回ごとの星地点評価：各項目Aランクの評価を得た地点数を☆の数で表し、地点の評価を行うものとする。

星年間評価：星地点評価ができた地点の最頻ランクとする。

利用しやすい水質の確保

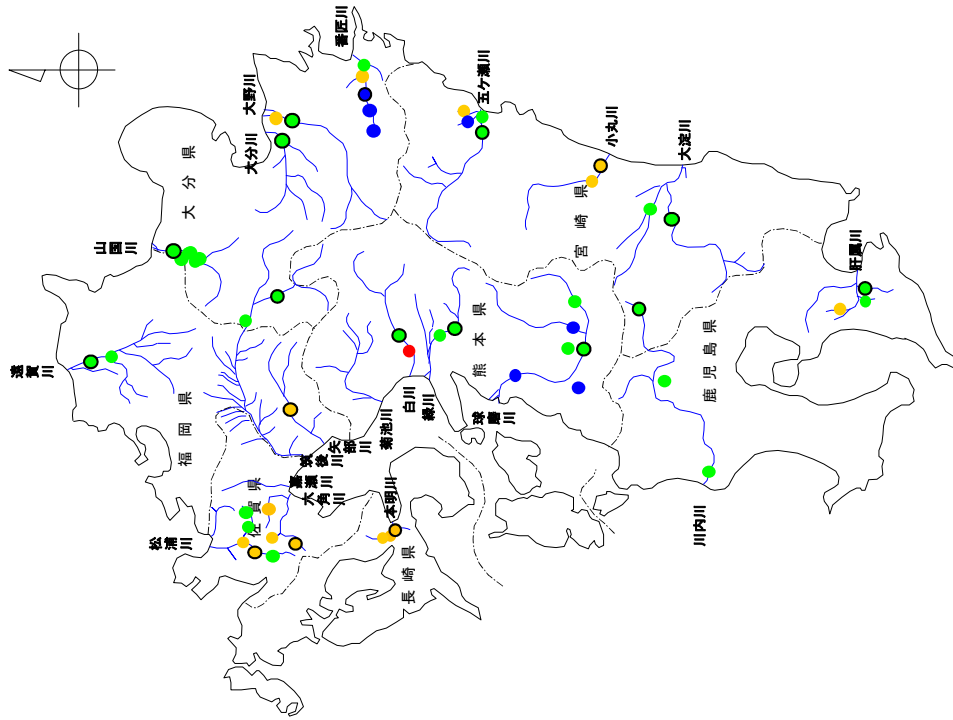
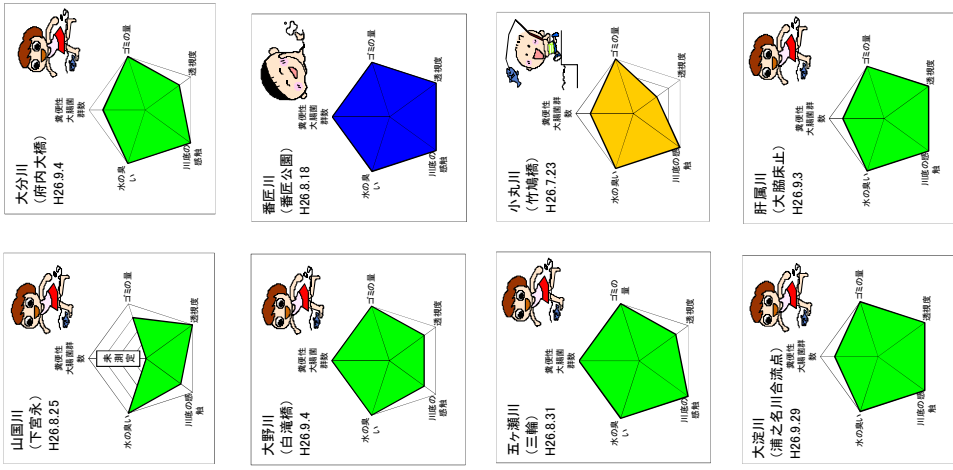
水系名	河川名	調査地点名	調査日	トリハロメタン生成能		2-MIB		ジオキシン		NH ₄ -N		調査回ごとの地点評価	地点の年間評価	調査回ごとの星地点評価	星年間評価		
				測定値 (μg/L)	評価	測定値 (ng/L)	評価	測定値 (ng/L)	評価	測定値 (mg/L)	評価						
遠賀川	彦山川	中島	H26.02.13	31	A	2	A	5	A	0.13	B	B	B	☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.23	46	A	<1	A	<1	A	0.06	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.25	36	A	2	A	<1	A	<0.02	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.13	47	A	2	A	3	A	0.08	A	A		☆☆☆☆			
山国川	山国川	下唐原	H26.05.22	40	A	<5	A	<5	A	0.01	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.08.04	30	A	<5	A	<5	A	0.08	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.14	30	A	<5	A	<5	A	0.04	A	A		☆☆☆☆			
大分川	大分川	府内大橋	H26.02.17	17	A	<1	A	<1	A	0.02	A	A	B	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.14	14	A	<1	A	<1	A	0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.25	17	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.06	18	A	6	B	<1	A	0.01	A	B		☆☆☆			
大野川	大野川	白滝橋	H26.02.17	13	A	<1	A	<1	A	0.01	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.14	10	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.25	11	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.06	13	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
番匠川	番匠川	番匠橋	H26.02.13	9	A	<5	A	<5	A	0.05	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.14	8	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.07	10	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.06	9	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	H26.08.22	35	A	<1.0	A	<1.0	A	<0.05	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
大淀川	大淀川	相生橋	H26.08.25	20	A	<5	A	<5	A	0.01	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
	本庄川	本庄橋	H26.08.25	10	A	<5	A	<5	A	0.04	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
川内川	川内川	斧淵	H26.02.04	58	A	<5	A	<5	A	0.1	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.09	43	A	<5	A	<5	A	<0.1	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.13	60	A	<5	A	<5	A	<0.1	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.04	60	A	<5	A	<5	A	<0.1	A	A		☆☆☆☆			
球磨川	球磨川	横石	H26.02.03	37	A	<5	A	<5	A	0.04	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.27	38	A	<5	A	<5	A	0.03	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.26	35	A	<1	A	<1	A	0.02	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.06	37	A	<1	A	<1	A	0.02	A	A		☆☆☆☆			
筑後川	筑後川	瀬ノ下	H26.02.06	30	A	<5	A	<5	A	0.18	B	B	B	☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.07	20	A	<5	A	<5	A	0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.28	30	A	<5	A	<5	A	0.09	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.14	20	A	<5	A	<5	A	0.08	A	A		☆☆☆☆			
	筑後川	筑後川	島内堰	H26.02.06	20	A	<5	A	<5	A	0.02	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
				H26.05.07	10	A	<5	A	<5	A	0.01	A	A		☆☆☆☆		
				H26.08.28	20	A	<5	A	<5	A	0.02	A	A		☆☆☆☆		
				H26.11.14	20	A	<5	A	<5	A	0.01	A	A		☆☆☆☆		
		筑後川	筑後川	三隈大橋	H26.02.06	20	A	<5	A	<5	A	0.02	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆
					H26.05.07	20	A	<5	A	<5	A	0.01	A	A		☆☆☆☆	
H26.08.28	20				A	<5	A	<5	A	0.02	A	A	☆☆☆☆				
H26.11.14	20				A	<5	A	<5	A	0.01	A	A	☆☆☆☆				
嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬橋	H26.02.06	21	A	<5	A	<5	A	0.05	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.07	22	A	<5	A	<5	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.08.28	22	A	<5	A	<5	A	0.02	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.13	24	A	<5	A	<5	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
松浦川	松浦川	久里橋	H26.02.24	33	A	<1	A	2	A	0.01	A	A	A	☆☆☆☆	☆☆☆☆		
			H26.05.07	42	A	<1	A	<1	A	0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.09.03	33	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A		☆☆☆☆			
			H26.11.14	40	A	<1	A	<1	A	0.03	A	A		☆☆☆☆			

調査回ごとの地点評価：評価項目のうち最も低く判定されたランクとする。（P13参照）

地点の年間評価：「利用しやすい水質の確保」については、地点評価の95%値とする。

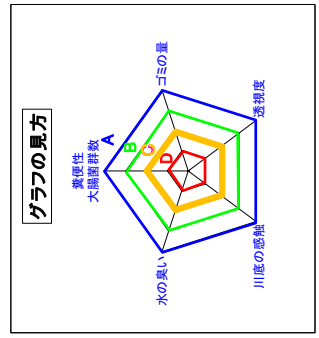
調査回ごとの星地点評価：各項目Aランクの評価を得た地点数を☆の数で表し、地点の評価を行うものとする。

星年間評価：星地点評価ができた地点の最頻ランクとする。



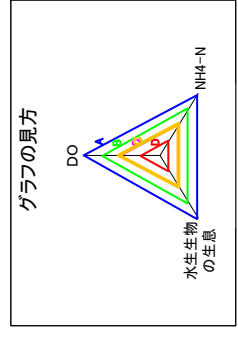
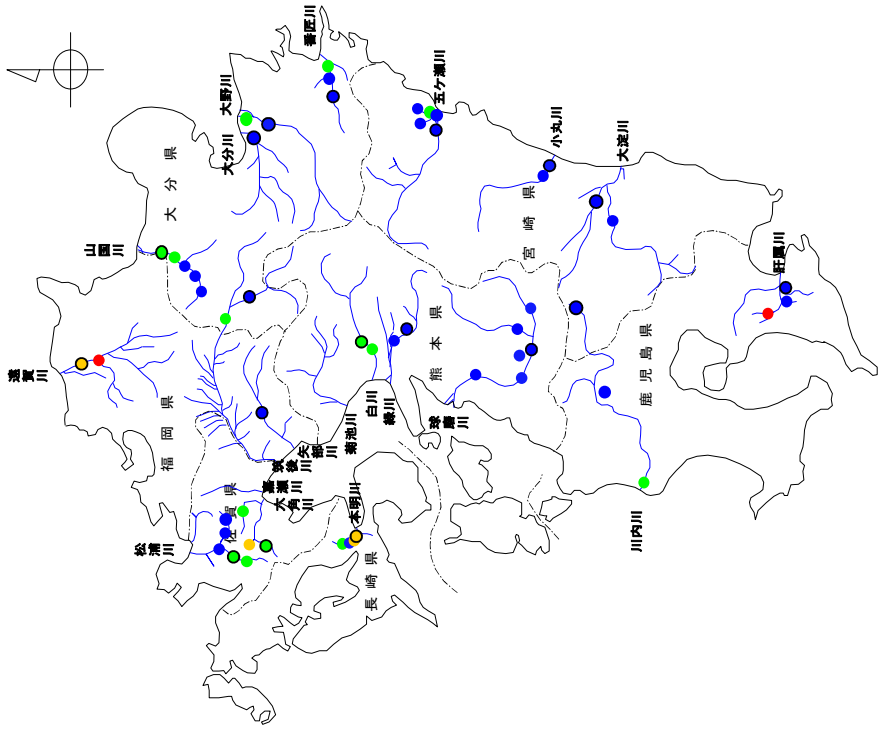
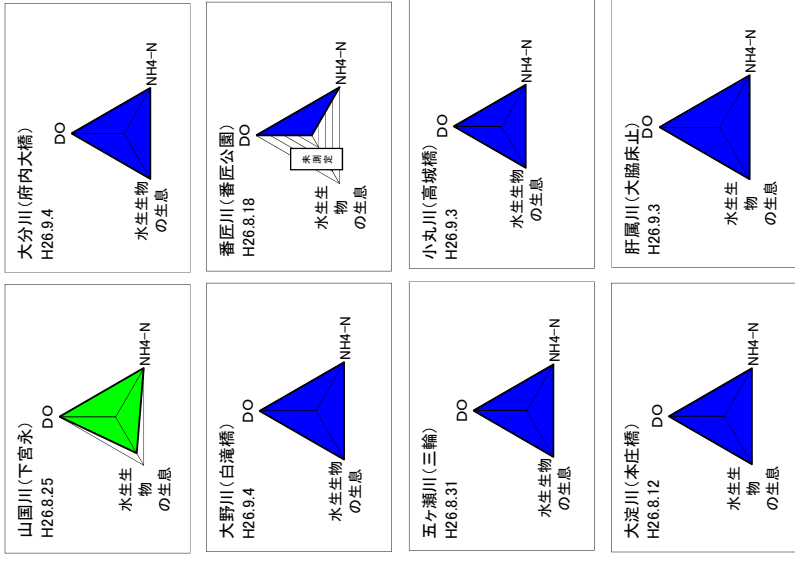
測定した評価項目のうち全ての評価項目がAランクの場合、「泳ぎたいと思われいな川」と判定

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル [※]	遊歩性大面積評価 (割合)
A	川の水に入って遊びやすい		水の臭い 100以下 透明度 70以上 川底の感触 不快でない 遊歩性大面積評価 100%以上	100以下
B	川の中に入らないが、遊びやすい		水の臭い 100以下 透明度 70以上 川底の感触 不快でない 遊歩性大面積評価 100%以上	100以下
C	川の中に入らないが、川に近づくと臭い		水の臭い 100以下 透明度 70以上 川底の感触 不快でない 遊歩性大面積評価 100%以上	100以下
D	川の水に近づくと臭い		水の臭い 100以下 透明度 70以上 川底の感触 不快でない 遊歩性大面積評価 100%以上	100以下

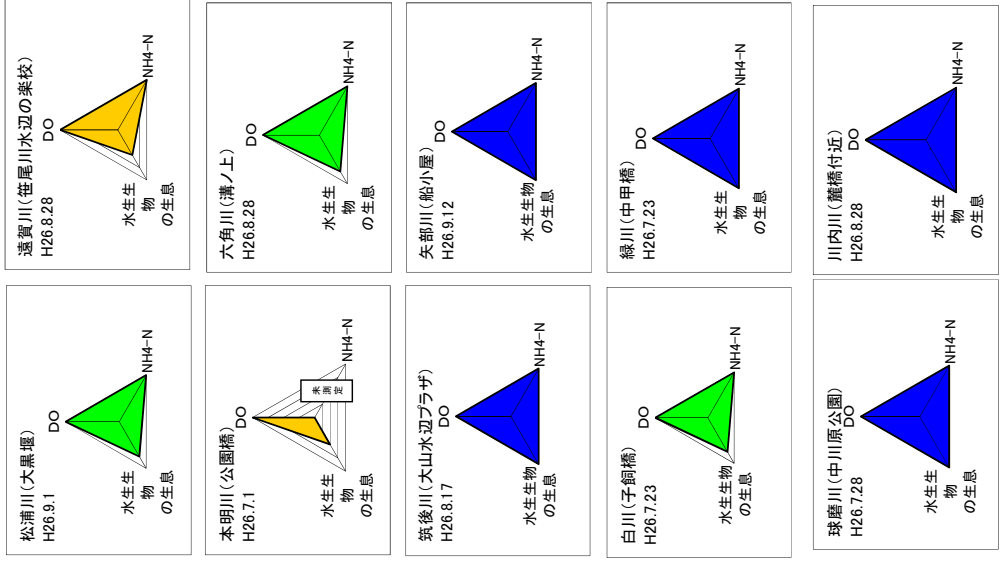


※ 水系での代表観測地点をグラフで表示している。ランクマークに○記載
住民と河川管理者との協働により左記評価項目のうち1項目以上を測定した調査結果
及び河川管理者が単独で「ゴミの量」「川底の感触」又は「水のおい」を含む1項
目以上を測定した調査結果を、評価の対象とする。

図-1 人と河川の豊かなふれあいの確保

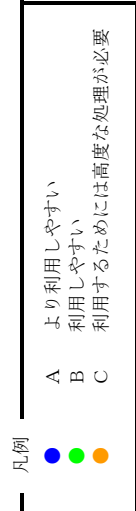
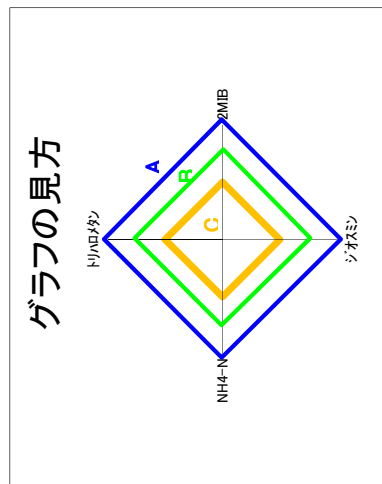
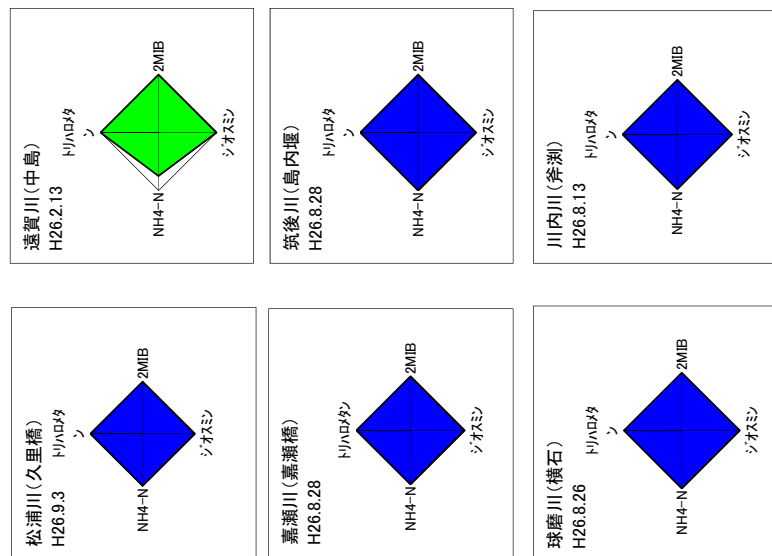
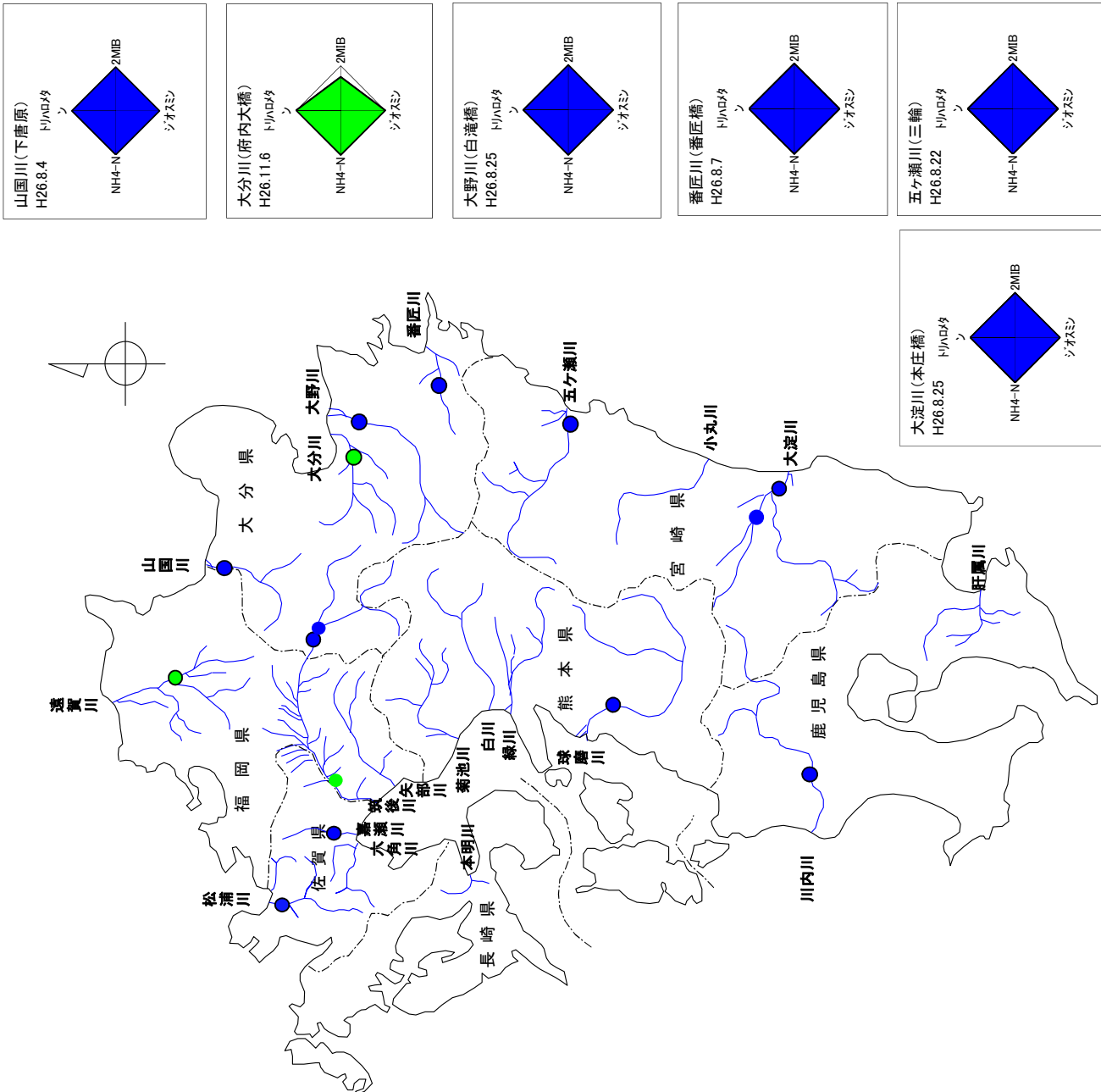


ランク	説明	評価項目と評価レベル	
		DO (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下
C	生物の生息・生育・繁殖環境として言い	3以上	2.0以下
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの



※ 水系での代表種測地点をグラフで表示して。ランクマークに○記載生物の生息が測定されれば、評価の対象とする。
 ※ ただし、湛水域・汽水域にあたる地点の場合、生物の生息が測定されていない場合、DO、NH₄-Nの両方が測定されていなければ、評価の対象とする。

図-2 豊かな生態系の確保



※ 水系での代表観測地点をグラフで表示している。ランクマークに○記載
 ※ 4つの指標項目が測定されている場合を評価の対象とする。
 ※ ただし、かび臭のおそれが無い場合、2-MIBとジオスミンの測定が行われていなくても、評価の対象とする。

図-3 利用しやすい水質の確保

4. 平成26年度 ダイオキシン類実態調査結果

水系名	河川名	調査地点名	都道府県名	調査時期	ダイオキシン類(水質)				ダイオキシン類(底質)			
					PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値 (最高値)
					pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
筑後川	筑後川	瀬ノ下	福岡県・佐賀県	秋期	0.12	0.0047	0.12	0.12	1.9	0.056	2.0	2.0
筑後川	筑後川	松原ダム	大分県・熊本県	秋期	0.062	0.0046	0.067	0.067	3.3	0.19	3.4	3.4
遠賀川	遠賀川	日の出橋	福岡県	秋期	0.095	0.0048	0.10	0.10	0.24	0.014	0.25	0.25
遠賀川	穂波川	秋松橋	福岡県	秋期	0.091	0.0047	0.096	0.096	0.22	0.013	0.23	0.23
山国川	山国川	下唐原	福岡県・大分県	秋期	0.075	0.0046	0.080	0.080	0.29	0.013	0.30	0.30
山国川	山国川	小祝	福岡県・大分県	秋期	0.080	0.0047	0.085	0.085	1.0	0.057	1.1	1.1
山国川	山移川	耶馬溪ダム	大分県	秋期	0.073	0.0046	0.077	0.077	7.0	0.23	7.2	7.2
大分川	大分川	府内大橋	大分県	秋期	0.086	0.0047	0.090	0.090	0.22	0.013	0.24	0.24
大分川	大分川	弁天大橋	大分県	秋期	0.074	0.0047	0.079	0.079	0.36	0.015	0.37	0.37
大野川	大野川	白滝橋	大分県	秋期	0.073	0.0047	0.078	0.078	0.21	0.013	0.22	0.22
番匠川	番匠川	番匠橋	大分県	秋期	0.065	0.0047	0.070	0.070	0.22	0.014	0.24	0.24
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	宮崎県	秋期	0.065	0.0046	0.070	0.070	0.20	0.013	0.21	0.21
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	大武	宮崎県	秋期	0.067	0.0050	0.072	0.072	0.25	0.016	0.27	0.27
小丸川	小丸川	高城橋	宮崎県	秋期	0.062	0.0047	0.067	0.067	0.21	0.013	0.23	0.23
大淀川	大淀川	相生橋	宮崎県	秋期	0.076	0.0047	0.081	0.081	0.21	0.013	0.22	0.22
肝属川	肝属川	河原田橋	鹿児島県	秋期	0.064	0.0048	0.069	0.069	0.21	0.014	0.23	0.23
川内川	川内川	曾木大橋	鹿児島県	秋期	0.077	0.0047	0.081	0.081	0.27	0.013	0.28	0.28
川内川	川内川	川内川河口	鹿児島県	秋期	0.077	0.0047	0.082	0.082	0.60	0.014	0.62	0.62
川内川	川内川	鶴田ダム	鹿児島県	秋期	0.078	0.0046	0.083	0.083	13	0.12	13	13
球磨川	球磨川	横石	熊本県	秋期	0.064	0.0047	0.069	0.069	0.21	0.014	0.22	0.22
緑川	緑川	上杉堰	熊本県	秋期	0.11	0.0047	0.12	0.12	0.24	0.013	0.25	0.25
白川	白川	小島橋	熊本県	秋期	0.14	0.0049	0.15	0.15	4.2	0.095	4.3	4.3
菊池川	菊池川	白石	熊本県	秋期	0.072	0.0047	0.077	0.077	0.53	0.014	0.54	0.54
矢部川	矢部川	船小屋	福岡県	秋期	0.080	0.0048	0.084	0.084	0.49	0.052	0.54	0.54
嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋	佐賀県	秋期	0.085	0.0047	0.089	0.089	0.22	0.013	0.23	0.23
嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬川ダム	佐賀県	秋期	0.068	0.0046	0.073	0.073	0.46	0.013	0.47	0.47
六角川	六角川	潮見橋	佐賀県	秋期	0.10	0.0047	0.11	0.11	0.62	0.013	0.64	0.64
松浦川	松浦川	久里橋	佐賀県	秋期	0.094	0.0047	0.098	0.098	0.30	0.014	0.31	0.31
本明川	本明川	旭町	長崎県	秋期	0.076	0.0047	0.081	0.081	0.60	0.025	0.62	0.62
本明川	半造川	半造橋	長崎県	秋期	0.14	0.0048	0.14	0.14	3.2	0.19	3.4	3.4

注1: 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とDL-PCBの和が、評価値と一致しないことがある。

一般にポリ塩化ジベンゾパラジオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)をまとめてダイオキシン類と呼び、コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)のようなダイオキシン類と同様の毒性を示す物質をダイオキシン類似化合物と呼んでおり、ダイオキシン類対策特別措置法においては、PCDD及びPCDFにコプラナーPCBを含めて『ダイオキシン類』と定義している。

5. 平成26年度 内分泌かく乱化学物質実態調査結果

水系名	河川名	調査地点名	重点調査地点	重点調査対象物質	採水日	SS	ビスフェノールA	エストロン (LC/MS法)	17β-エストラジ オール(LC/MS 法)	o,p'-DDT
						mg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L
						重点調査濃度				
						-	24.7	0.0016	0.0015	0.0145
遠賀川	遠賀川	日の出橋			10月16日	4	<0.005	0.0003	<0.0001	0.000003
山国川	山国川	下唐原			10月27日	1	<0.005	0.00049	<0.0001	0.0011
番匠川	番匠川	番匠橋			10月9日	<1	<0.005	<0.0001	<0.0001	0.0000005
調査地点合計				0 (0)	3	3	3	3	3	3
検出地点合計				-	0	-	0	2	0	3
今回の調査で重点調査濃度を超過した地点数				-	0	-	0	0	0	0
最大値				-	-	-	<0.005	0.00049	<0.0001	0.0011

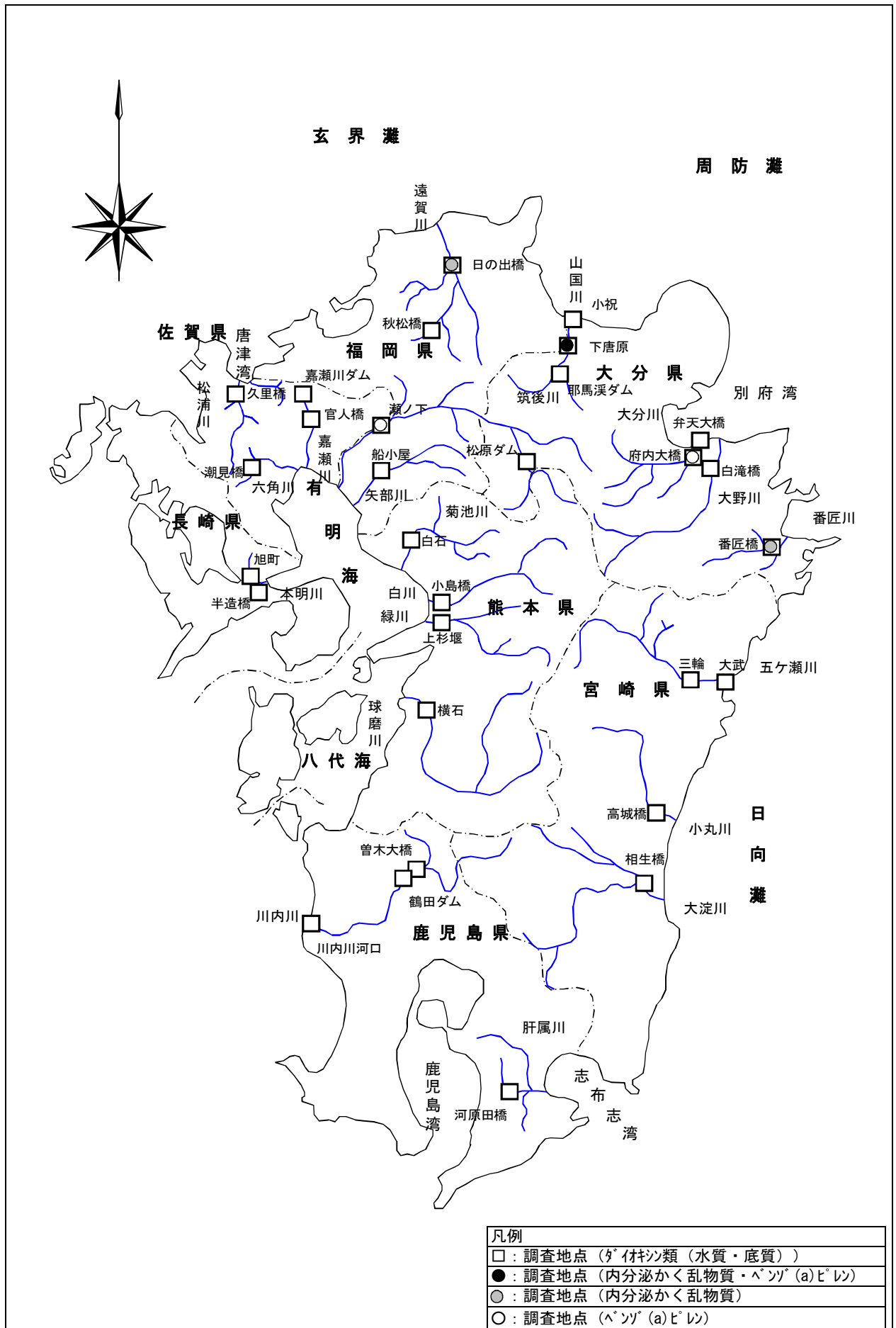
注1:括弧内は、今回新たに重点調査濃度を超過する値が観測され、平成27年度調査以降、重点調査対象物質となるもの。

網掛け:重点調査濃度を超過した値

6. 平成26年度 ベンゾ（a）ピレン調査結果

水系名	河川名	調査地点名	採泥日	底質	
				強熱減量 %	ベンゾ(a) ピレン μg/kg
筑後川	筑後川	瀬ノ下	10月17日	2.5	2.0
山国川	山国川	下唐原	10月17日	1.4	<0.5
大分川	大分川	府内大橋	10月10日	1.4	<0.5
調査地点合計			3	3	3
検出地点合計			-	3	1
最大値			-	2.5	2.0
検出割合			-	-	33%

7. 平成26年度 ダイオキシン類・内分泌かく乱化学物質・ベンゾ(a)ピレン
調査位置図



用語の解説

用語の解説

BOD（生物化学的酸素要求量）

川の汚れの程度を測る代表的な尺度です。水中の汚れ（有機物）は、微生物により分解されますが、その時に消費する酸素の量をBODと言い、BODの値が大きければ水が汚れていることを表します。

COD（化学的酸素要求量）

水中の有機物質などが過マンガン酸カリウムによって化学的に酸化・分解される際に消費される酸素量のことです。数値が大きくなるほど汚濁していることを示します。湖沼や海域の水質汚濁の一般指標として用いられます。

75%値

年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%値とします。（ $0.75 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとります。）

例えば、毎月1回測定していた場合、年12個のデータのうち、水質の良い方から数えて $12 \times 0.75 = 9$ 番目の値で評価します。

環境基準

人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準として決められた目標値です。人の健康の保護に関しては全国共通の基準値ですが、生活環境の保全に関しては地域ごとに基準値が定められています。

類型

環境基本法に川の水質に関する基準値が定められており、河川水の利用目的に応じて、達成すべき値や維持していくための目標値があります。生活環境項目の環境基準は、全国一律の値ではなく、類型別に基準値が定められています。河川等の状況や利用状況を考慮して、地域ごとに類型指定されています。

河川における類型ごとの環境基準値（BOD75%値）

AA 類型：1mg/ℓ、A 類型：2mg/ℓ、B 類型：3mg/ℓ、C 類型：5mg/ℓ、D 類型：8mg/ℓ、E 類型：10mg/ℓ

湖沼における類型ごとの環境基準値（COD75%値）

AA 類型：1mg/ℓ、A 類型：3mg/ℓ、B 類型：5mg/ℓ、C 類型：8mg/ℓ

糞便性大腸菌群数

大腸菌群のうち44.5℃という高温でも生育する細菌群であり、大腸菌以外の細菌も含まれます。糞便性大腸菌群が多く検出されるということは、糞便汚染を受けた可能性が高く、赤痢菌、サルモネラ菌などの病原菌に感染しているリスクが高いことを示します。このため、環境省では水浴場水質の判定基準に用いられています。

DO（溶存酸素）

水中に溶けている酸素量のことです。溶解量を左右するのは水温、気圧、塩分、汚れの程度により変化します。汚染度の高い水中では、自浄作用により消費される酸素量が多いため溶存酸素量は少なくなります。きれいな水ほど酸素は多く含まれます。

NH₄-N（アンモニウム態窒素）

水中にアンモニウム塩として含まれている窒素のことです。主としてし尿や家庭下水中の有機物の分解や工場排水に起因するもので、水質汚染の指標となります。

トリハロメタン生成能

下水処理場やし尿処理場の排水や水中に含まれているフミン質（有機態窒素化合物）や親水性酸などと消毒剤として用いられている塩素が反応して生じる消毒副生成物です。トリハロメタンは発がん性が確認されたことによって、水質基準が決められた初めての有害化学物質です。

2-MIB（2-メチルイソボルネオール）

かび臭の原因物質で、水道水の水質基準になる物質です。

ジオスミン

2-MIB と同じく、かび臭の原因物質で、水道水の水質基準になる物質です。

カドミウム

人体に対する毒性は強く、水質で問題になるのは主に慢性中毒です。公害病として有名なイタイイタイ病は、慢性カドミウム中毒による腎機能障害、重症の骨軟化症とされています。

全シアン

シアンは、自然水中にはほとんど含まれませんが、メッキ工場や金属精錬所など青酸化合物を使用する事業所などの排水の混入によって含まれることがあります。シアン化合物は一般に毒性が強く、微量でも水生生物や下水浄化微生物に障害を与えます。

鉛

慢性鉛中毒の症状としては、食欲不振、頭痛、貧血、全身倦怠などがあります。

六価クロム

毒性が強いため、有害物質として厳しく規制されています。六価クロムの毒性は主にその強い酸化力によるもので、胃腸炎や腎炎、皮膚炎などを引き起こします。

砒素

毒性が強い物質で、砒素による水質汚染は、鉱山排水や工場排水、農薬（除草剤、殺虫剤）などが考えられます。また、温泉水など火山地帯の地下水には高濃度の砒素が含まれている場合があります。

総水銀

工業用、農業用、医薬用など多くの用途に使用されてきた物質で、生物にとってきわめて有害な物質です。

アルキル水銀

アルキル水銀は吸収されやすく排せつされにくい性質から、水中の濃度はわずかであっても魚介類の中に高濃度に蓄積されて毒性を発揮する可能性があります。

PCB（ポリ塩化ビフェニール）

電気絶縁性が良く接着性や伸展性に富んでいるため、工業用資材として広く使用されてきましたが、現在では製造、輸入、使用が禁止されています。

ジクロロメタン

常温常圧で無色透明の水より重い液体で、芳香臭があります。発がん性物質といわれています。

四塩化炭素

常温常圧で無色透明の水より重い液体で、クロロホルムに似た芳香臭があります。オゾン層破壊の原因物質の一つといわれています。

1,2-ジクロロエタン

常温常圧で無色透明の水より重い液体で、甘味臭がある物質です。発がん性の疑いがあることから化審法の指定化学物質に指定されています。

1,1-ジクロロエチレン

常温常圧で無色ないし淡黄色の透明な水より重い液体で、芳香臭がある物質です。

シス-1,2-ジクロロエチレン

常温常圧で無色透明の水より重い液体で、わずかに刺激臭をもち、引火性・可燃性があります。

1,1,1-トリクロロエタン

常温常圧で無色透明の水より重い液体で、芳香臭がある物質です。オゾン層破壊の原因物質の一つとされています。

1,1,2-トリクロロエタン

常温常圧で無色透明の水より重い液体で、芳香臭がある物質です。揮発性が高く、水中から大気に蒸散する傾向があります。

トリクロロエチレン

常温常圧で無色透明の水より重い液体で、エーテルやクロロホルムに似た芳香臭がある物質です。不燃性の物質で、主に溶剤に使用されます。発がん性物質といわれています。

テトラクロロエチレン

性状、毒性、用途などはトリクロロエチレンと同様ですが、トリクロロエチレンよりも代謝されにくく蓄積されやすいといわれています。

1,3-ジクロロプロパン

常温常圧で水より重い淡黄色の液体で、可燃性、金属腐食性があります。殺虫剤や農薬として使用されています。

チウラム

強い殺菌力を有することから、種子消毒、茎葉散布、土壌処理用として、農地やゴルフ場で使用されています。

シマジソ

畑地やゴルフ場で土壌処理剤として使用されています。

チオベンカルブ

水田や畑地で茎葉兼土壌処理剤として使用されています。

ベンゼン

無色透明の水より軽い液体で、特有の臭気があります。麻酔作用をもち、発がん性も確認されています。

セレン

光電池、半導体、塗料、殺虫剤などさまざまな用途に広く利用されています。

硝酸性窒素

富栄養化の直接原因となるほか、人体に摂取された場合、体内で亜硝酸態窒素に還元されてメトヘモグロビン血症などの障害を起こすとされています。

亜硝酸性窒素

富栄養化の原因物質であるほか、血色素と反応して血液の酸素運搬能力を低下させることから人体にも有害です。

ふっ素

原料用（フロン、フッ素樹脂、木材防腐剤など）や金属洗浄剤などに用いられます。工場排水や温泉地帯の地下水や河川水には高濃度のふっ素が含まれていることがあります。また、海水は自然状態でも基準値を上回るふっ素を含んでいることがあります。

ほう素

医療用、工業用などに用いられる物質です。動植物の必須元素の一つで毒性は弱く、大量に摂取した場合は中毒を起こしますが、通常は人間や家畜に対する毒性が問題になることはありません。

1,4-ジオキサン

穏やかな香りをもつ無色の液体で、工業溶剤などに用いられます。

ダイオキシン類

ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)』『ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)』『コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)』の3種の化合物群です。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質です。

内分泌かく乱物質

動物の生体内に取り込まれた場合に、本来、その生体内で営まれている正常なホルモン作用に影響を与える外因性の物質です。ホルモンに似た作用をする物質の総称で、環境ホルモンとも言われています。内分泌かく乱作用（体内で本来のホルモンの働きを攪乱する作用）を持ち、メス化やがん化などの毒性があります。

SS（浮遊物質量）

水中に懸濁している不溶性の粒子状物質のことで、SSが多いと水の濁りや透視度などの外観が悪くなるほか、魚類のエラを塞ぎ呼吸を妨げて窒息死させる危険性や、太陽光の透過を妨げることによって水中の植物の光合成を阻害するなどの影響があります。

ビスフェノールA

プラスチックや接着剤の原料として広く使われています。女性ホルモンと似た作用を持ちます。

エストロン

女性ホルモンの一種です。卵巣中で生産され、排泄物の形で排出されるため、下水を経由して河川中にも放流されている可能性があります。

17β-エストラジオール

女性ホルモンの一種です。女性ホルモンの中でも作用が非常に強い物質です。排泄物に多く含まれており、下水を経由して河川中にも放流されている可能性があります。

o,p'-DDT

農薬の一つで、戦後、害虫駆除のため広く使用されていましたが、現在では使用が禁止されています。発がん性があり、残留性も強いです。

強熱減量

試料水を105～110℃で蒸発乾固したときに残る物質を蒸発残留物といいます。強熱減量とは、蒸発残留物をさらに約600℃で灰化したときに揮散する物質のことをいいます。強熱減量は、水中の有機物量の目安となります。

ベンゾ(a)ピレン

自動車排ガスやたばこの煙、燃焼に伴う排ガスに含まれている物質で発がん性があります。

【九州地方一級河川の水質調査結果の問い合わせ先】

河川名	事務所名・担当課名	所在地	連絡先（代表）
（全川）	九州地方整備局 河川部 河川環境課	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号	TEL 092-476-3525(直通)
遠賀川	遠賀川河川事務所 河川環境課	〒822-0013 福岡県直方市溝掘1丁目1-1	TEL 0949-22-1830
山国川	山国川河川事務所 調査課	〒871-0026 大分県中津市大字高瀬1851-2	TEL 0979-24-0571
大分川・大野川	大分河川国道事務所 調査第一課	〒870-0820 大分県大分市西大道1丁目1番71号	TEL 097-544-4167
番匠川	佐伯河川国道事務所 調査課	〒876-0813 大分県佐伯市長島町4-14-14	TEL 0972-22-1880
五ヶ瀬川	延岡河川国道事務所 調査第一課	〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2889	TEL 0982-31-1155
小丸川・大淀川	宮崎河川国道事務所 調査第一課	〒880-8523 宮崎市大工2丁目39番地	TEL 0985-24-8221
肝属川	大隅河川国道事務所 調査第一課	〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝属町新富1013-1	TEL 0994-65-2541
川内川	川内川河川事務所 調査課	〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号	TEL 0996-22-3271
球磨川	八代河川国道事務所 河川環境課	〒866-0831 熊本県八代市萩原町1丁目708-2	TEL 0965-32-4135
緑川・白川	熊本河川国道事務所 河川管理課	〒861-8029 熊本県熊本市東区西原1丁目12番1号	TEL 096-382-1111
菊池川	菊池川河川事務所 調査課	〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿178	TEL 0968-44-2171
矢部川・筑後川 ・嘉瀬川	筑後川河川事務所 河川環境課	〒830-8567 福岡県久留米市高野1丁目2番1号	TEL 0942-33-9131
六角川・松浦川	武雄河川事務所 調査課	〒843-0023 佐賀県武雄市武雄町大字昭和745	TEL 0954-23-5151
本明川	長崎河川国道事務所 調査第一課	〒851-0121 長崎県長崎市宿町316番地1	TEL 095-839-9211

平成 26 年九州地方一級河川の水質現況 概要パンフレット
Recent condition of water quality of class A river in Kyushu

<http://www.qsr.mlit.go.jp/>



国土交通省 九州地方整備局

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東 2 丁目 10 番 7 号
福岡第二合同庁舎
Tel. 092-471-6331 (代表)

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Kyushu Regional Development Bureau